小林美登利 Kobayashi殿
Galvão Bueno 85

日伯新聞

ブラジル國サンパウロ市リベーダーデ街一四六番
發行所　日伯社
本紙定價一年金三十ミル
外國郵稅共金六十ミル
廣告掲載料
十五字詰一行八百レース
一面及八面二百レース增

總領事館のスタフ
冗員淘汰の要あり

今回始めまた新らしい領事が着任した、これでサンパウロ帝國總領事館は、總領事、領事、副領事、書記生七名、農事部員四名、外にブラジル人の雇ひが一名、受付三名合計ザットと十九名である、中々の大世帶で堂々たる日東帝國の總領事館としてこれ位のスタフが要るのであらふ、盛代の世はありがたいことである。

然るに靜かに考へて見ると一寸不審が起る、そんなに多人數を寄せて一体何をするのであらふかと氣の早い人は判つたやうな解釋を下して云ふ在留民も十万になつたのだから、二十人や三十人の領事館員が居なければ仕事にならないのだと、だが何をするのだらふ、內情に通じた人は云ふ、領事館の仕事は戸籍に證明書に何や彼やと澤山にあつて十八九人ぐらひ人間が居なければ間に合はないのだとそうかなあハテナ。

だが實際のところ人が多過る、世界中の我領事館でサンパウロほど館員の多いところは先づあるまい、世帶が大きくなつたのだからと云つてしまへばそれ迄であるがどうも人員が多すぎる、モ少し人員を減らす餘地は十分にある樣に思ふ、そりや戸籍だ證明だとウルサイ事務は在留邦人の增加するにつれてふえて行くのは當然だ、それにしても二十人近くの人間が要らふとはどうしても考へられない先づ總領事から調べてみるこれは長官だから大体の締めくくりをするだけで別に何も仕事をせずともよいとして次の領事、副領事がコザ／＼した用事に當るのであらふ、これも二人は要らぬ一人あれば澤山である、それから書記生が七人、これはどうみても多過る三人か四人あれば澤山だ、事務と云つても會計と戸籍と通商（通商事務は意味を爲さぬが）、その外に外人關係の雜務があるだけで、四人をれば十分である、バウルも二人リベロンも二人、サントスも二人だ、サンパウロは總本店だからその倍の四人位をつて丁度よい、二十人はどうみても多過る。

だから領事館では若しくは大使館ではツイぞ忙しくて困つたとの聲を聞かない、大抵は一人で十分やれる仕事を態々二人三人に分擔してやらせてをる、仔細に點撿するのはウルサイからよすが、その弊は十分ある、小僧か受付にやらして然る可きやうな下らない事務に堂々たる毛の生へた男を使つて居る、而も全能力を發揮させるでなく半分か三分の一人前の仕事をさしてをる大凡官廳は冗員の多い所とは世界の通り相場であるがサンパウロ總領事館などは更らに念が入つてるやうに思はれる。

我等は近代國家の立場から觀て政府の事務もビジネスプランでやつて行く可きものだと考へてる、出來るだけ經費をかけないで良い成績をあげて行く、これは强ち商人や事業會社だけの信條ではなく政府自体がそれでなければならない、多く經費をかけ碌な成績をあげ得ないなら、政府と雖も商人と同じに破産する、只困ることは政府は豫算編成の時にのみいくらか此考を保持して居るが、一度豫算が各省に分配され終るや、考は一變して使はねば損だと云ふ氣になる、殊に在外公館においてその弊が甚しい、サンパウロ領事館をみると、ビジネスプランなどは藥にしたくも無く、二十人近くもの人間を使つてノンベンダラリと脂下つてをる所いかにも間がぬけて見える、若し商店か會社であつたら年々缺損赤字を出すことは間違ひないところである、それが官廳であるが故に株主からガリを喰ふ心配もなく、世間の物嗤ひにもならずにすんでるが、公金の合理的使用と云ふことは國民として考へなければならぬ所である、官吏自身も亦考へねばならぬ筋合である、今や時代は最早昔のやうな無茶は許さなくなつて來た。

新總領事は商人出の人である、ビジネスプラン、マネージメントシステムの何物であるかは從來の總領事に比べて能く知つてる筈だ着任後既に一ヶ月ほぼ領事館內の樣子も判つたらふと思ふ、それがビジネスライクに能率が上つてるかどうかも見當は付いたと思ふ、何とかモ少し引締めて、近代的にやる工風は無いものであらふか、敢て外國の例を引張るでもないが獨逸や伊太利の領事館はどうであらふ、四五人の老練なる官員で立派に片付て居る、日本だつてそれでやれぬことはないのだ、いやそれでやるのが本當なのだ、現在の狀態は餘りに贅澤に過ぐ冗員淘汰の餘地は十分ある。

◯雜　報◯

伯國銀行動搖

中央銀行の內容が怪しく營業方針が放慢を極めてゐると云ふ噂は玄人筋の間で頻りと取沙汰されて居たが遂に爲替課長コレアカストロ氏が辭表を出すに至つた、今氏はアルツールベルナルデス大統領時代に入行引續き勤務して今では行內の重鎭として新頭取レオンティシエーラ氏と雖も手が着けられぬ狀態になつて居た最近サンパウロ珈琲調節局が資金に困り大統領ワシントンルイス氏は伯國銀行をして融通せしめやうとしたがコレイオ氏は銀行家の立場として容易に之れに應ずることをせず少からず大統領の機嫌を損し遂に辭職を餘儀なくされたものと觀測されてをる

黃熱病退治を外國人に

聯邦政府では黃熱病の撲滅に手古摺つた揚句、今回いよ／＼同病撲滅方を米國のロックフエラー研究所に正式に委任せんとのことである、從來同研究所では故野口博士を派遣して以來間接に盡力して居たが今後北伯一帶の黃熱病その他はロックフエラーが擔當することになるであらふと、獨立國として行政の一端を外國人の團体に任せることは今後惡例を殘すものでブラジルのために非常な不利益だと憂慮する者もあるが事實上ブラジル人の手で撲滅出來ないところから我を折つたものか何れにしても一般衞生行政上一方に外國人が立つてをることは双方に不便で到底徹底的の事は出來まいと見られて居る、只米國國務省あたりは之れを利用して伯國に勢力を張ることに努力するは疑を容れざるところであらふと

診察時間午後三時より六時まで
ドクトル　高岡專太郎
ルア ファクンデス八
電話　二一四一八〇

カルナバル祭
雨にさいなまれた

梅雨のやうに一月初旬から降りきつて居た雨がカルナバルの前宵まで續いて翌日の天氣はどうだらふと百萬の市民が皆心配した甲斐あつて十日は朝から雨が止み、やれ悅しやと小踊りしシヤガレ聲を振り立て〻香水やセルベンチナを賣り立て〻居る商人の元氣のないこと夥しく往來の人も年々外國人がふえるため傳統的氣分をそがれ假裝して出る者やマスクを被つて出る者は至つて少くなり素面素小手で步く者が多くなつた、賑ひの中心は數年この方アベニーダとプラスになり、アベニーダは日中だけ自動車の行列が四筋になつて練り步く十日十一日は泣き出しさうな空模樣ながら幸くも雨はやんで血の沸いてる若い男女が鼓をせんどとセルベンチナを投合つた、田舍から來るカイピラ自動車はクルソに這入るには市役所へ九十五ミルの特別稅を拂はねばならず、それでも可なり澤山の參加があつた日本人の車では肥料取次の若月某氏が別ピンの娘と妻君を乘せて加つてゐた外コンデの宿屋から出した車には野暮に男だけを乘せ而も

素顏がマスク

よりふるつて居るなどの愛嬌もあつた、十一日のプラスは流石に息切れのするほどの賑ひで、茲は自動車の外カミニヨンが參加し下町だけに遠慮がなく道化や假面を被つた男女が押合ひ抱き合つての香水合戰午後十時頃小雨が降つたが大したことにはならずアベニーダランジエルベスターナは濃厚にカルナバル氣分を見せて居た、セントロはルアキンぜとラルゴダセにイルミネンヨンを施しアンタルチカ麥酒會社が目拔の場所へ樂隊を配置して景氣を添へた、市中の景氣に引かへて盛んであつたのは各ホテルやシネマの踊場で午前の一時頃から四時五時までも踊りぬきテルミナスやエスプラナーダなどは每晩二千人以上の入場者でその他サンタアノナ、サンタヱレナなど何れ劣らぬ人ごみであつた、十二日はカルナバル最後の日だと云ふに意地惡く朝から降り出しとう／＼夜の八時頃まで降りつづけた市民一同忌々敷がらぬことか天を仰いてメウデウスを叫ぶもの數知れずわけてカルナバル當込みの商賣人泣かぬばかりに消氣て居た九時頃から雨足は止んで人出は相當にあつたが、いざ山車が出やうと云ふ頃からまたもやドシヤ降り、とう／＼三時まで降りつづけた爲め山車は出ず仕舞ひ

燒腹を立て〻踊場へ

繰込む者引きもきらす、そこも滿員、金はいくらでも出すから入れてくれと木戸口で喧くわするなどの悲喜劇もあつた、こうした本年のカルナバルは惜しくも雨のためクサつてしまつた、アテの外れたのは商人と電車會社自動車運轉手なども大に懷勘定が狂つた、カルナバルでは誰しも腹が痛んで困る中に今年は商賣人の背負込みが中々ヒドイ模樣である、ホク／＼ものはホテルやシネマで踊場をこしらへた所で何れも高い入場料を取つて尙大入滿員この手合雨を感謝して居たとはさて／＼皮肉なものである

邦醫留學生來
屁蝮入道

また政府派遣の留學生が來た、ダンス、パクチ、女郎買ひ、その揚句が肺病、帝國大使館もよい者を預つたものだ。

アマゾン追憶　七
翁長白水郎

▲アマゾン流域の交通不便なことは之亦お話にならない。尤も本流の方はペルー國イキトス市迄航洋汽船が通ひ、支流でも大きいものになると或る程度まで水運の便がある。然し此れは船着場だけが浴し得る利便て、其地の者は山々通つてお隣りまで行くか、左もなければ獨木舟にたよる外ない。

▲ペルーにしてもボルビアにしても、將だブラジルにしても、苟くもアマゾン流域である限り、そして都市でない限り、其住民は每戸必ず獨木舟の用意がいる。カノアは彼等の足であり又カミニオンである。向ふ三軒兩隣——と云へば簡單だが、隣と云つても森林を隔て居るし、向ふは河を渡らねばならぬ——との往來からカノアにたよらねばならぬ。

▲普通の農家では足代りのカノアと、生産物運搬のと二つ備へて居る。足代りになるのは大抵長さ二メートル半幅六十センチ位で極めて輕く出來て居る。『アントーニオお隣へ行つて鹽一カネカ借りておいで』とおつかあが云ふと、よし來たと十四五の子供がカヒを肩に飛び出し、此輕いカノアを巧みにあやつつて用をたへして來る。甚だ便利なものだ。

▲一寸お隣へ行くのにカノアで出かけなくてはならないのが何が便利だと讀者諸君は嗤ふであらうがこれを便利だと云はなければならないこと程左樣にアマゾンと云ふ處は不便てある。であの邊に住んで居る人達は、農業者であらうと勞働者であらうと、カヒの使ひ方を心得て居ないと一人前でない。斯く申す拙者も盛んに漕いだものだ。

△あの邊をうろついて意外に思つたのは猛獸毒蛇の少ないことだ。イヤ少ないといふと突つ込まれるかも知れないから、あまり目につかなかつたと云はう。例のオンサと云ふ南米豹はチラと見た事はあるが、こちらは舟に乘つて居たのでチットも怖くなかつた。然し山中の一軒家で夜中其の吼え聲を近くで聞いた時はゾットさせられた

△小さい蛇にはしば／＼出會した。或る時友人の農園へ遊びに行き、一人でブラ／＼畑を步いて居たら目の前四メートル位の處を、僕の腕位の黑つぽい色をした蛇が、道を橫切つてノソリ／＼草むらへ這つて行くのを見て青くなつて逃げ歸つたこともあつた。

△四人コンパでペニー河沿岸をカノアで行商に出かけた事がある。或る日例によつて岸へつけ飯をたいて晝食をすまし、さあ出發しやうと云ふ時、近くの草むらが風がないのに妙な音をたてたので、山に慣れた一人がのぞきに行き、色をかへて引返し「ボアだ、逃げろ／＼」といふのでカノアに乘つてそこを出たが、何でも直經一尺もある大蛇だつたとあとで云つて居たが眞僞は保證の限りでない。

△僕が見た蛇の皮で一番大きかつたのは、ペルーとボリビアの境をなして居るヒーッとか云ふ河の右岸、ボリビア國稅關の廣間に飾つてあつたもので、幅が一メートル餘、長さ十三メートルのものであつた。之はあの邊でも珍しいと云つて居たから、三十メートルの大蛇など云ふものは恐らくあるまいと思ふ

△ジヤカレー（鰐）の大きいのも居るが、僕の見たのでは四メートル位のが一番大きかつた。話に聞く印度や埃及のワニと違ひ、餘り人間に害を及ぼすことはないが。全然ないんでもない。頭の赤いのは獰猛だと聞いた。僕はよく二メートル位のを射殺し、尻尾だけ持ち歸つてサシミにしたり、乾したりして食べた。あの時は美味だと思つた。（完）

印刷物は日伯

最新式の機械と活字、それに加ふるに優秀なる內外人職工、從つて印刷物は日本文、歐文、何でも出來ぬものなしカルトン、ブロツク、雜誌その他定期刊行物一切の御註文に應ず

インテリオール方面の方は汽車積エンコメンダを利用さるれば却つて有利です

日伯社營業部

◇廣　告◇

マラリヤを
全治した藥
"Imalarina Cremonese"
の世界的發見

伊國政府が公式にその効果を發表して以來イマラリナ・クレモネゼはマラリヤ其他熱病の妙藥であるといふことが定評になりました。農家に備へて置かなければならぬものゝ一つです。

至急　左記ブラジル總代理店へ御照會下さい

ZAPPAROLI & SERENA LDA.
Caixa do Correio, 1096
SÃO PAULO

F. S. HAMPSHIRE & COPMANHIA LTD.
S. PAULO : RUA ALVARES PENTEADO, 17 SOB.
SANTOS : RUA 15 DE NOVEMBRO, 147 SOB.
KAMAKURA-MARU; Sahirá de Santos a29 deFevereiro de 1929
WAKASA - MARU; Sahirá de Santos a 18 de Fevereiro de 1929

母國へ一番早く着く船
◉神戸まで サントスから六十三日
日本郵船の船は每月一回南阿經由神戸に向けサントスを出帆します
船內衞生設備の完全、食事の優秀、乘組員の懇切については定評があります
○鎌倉丸　二月二十六日サントス着
○わかさ丸　二月十八日サントス出帆
神戸又は橫濱迄　一等 二三〇〇ミルレース　二等 一六〇〇ミルレース　三等 一〇〇〇ミルレース

日本からお呼寄せの便法
日本から呼寄せられる方の乘船賃を當地郵船代理店へ豫めお拂込になれば乘船券發行指圖書を差上げますその指圖書を日本內地の御本人にお送りになつて乘船地の郵船支店で乘船券と引換へられるのです、この取扱は送金の費用や手數が省け且つ最も安全な便法です
—出帆日取其他細詳は上記代理店へ御照會願ひます—

日本郵船會社

THEODOR WILLE & CIA.
RUA LIBERO BADARÓ, 52
Caixa Postal, 94 - S. PAULO

テオドロ・ウヰル商會

諸君の收穫は常に土壤中の養分を搾取してゐるのですから此重要な成分を旨く土壤へ補給してやるのが如何に必要であるかを御考へ下さい
その必要を充たす爲めには弊商會のチリー硝石等の肥料に及ぶものはありません
▲肥料は一切の作物特にバタ、、ミリヨ及野菜等に効力卓絕であります
◎チリー硝石　◎加里肥料
◎レナニヤ燐酸肥料

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria No. 23
Caixa Postal, 380 — Rio de Janeiro

切リトリテ手紙ノ表ニハラレタシ

リオ・デ・ジヤネイロ
橫濱正金銀行支店

鄕里送金

一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし卽ち全く無手數料にて御鄕里の受取人へ送り届け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶橫濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず當店へ御送り下されたく候

預金

日本貨定期預金利息六ケ月以上年四分五厘
伯貨定期預金利息（六ケ月以上年四分 一ケ年以上年五分）
伯貨當座預金（小口）年四分
▲預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はば御便宜に有之候

▲最近電報

英國皇帝轉地
【倫敦十二日】英皇の容態は逐次良好十日ボグノに轉地した寒氣こく烈なるに拘らず引續き經過良好の由

印度の宗教戰
【ボンペイ十三日】マホメツト教徒に對する印度人の反抗運動起り騷擾の結果死者百三十七負傷者七百八十三名捕縛されたる者多數、二万以上の印度人を市街放逐す

歐羅巴大暴風
【倫敦十二日】バルチツク海は結氷のため外國船三十餘隻立往生す中には食糧欠乏のものあり

○雜　報○

サンタカタリナ州統領
リオ出張中のサンタカタリナ州統領アドルフオコンデル氏は歸任の途次十四日午前入聖した停車場には州統領ジユリオプレステス氏を始め各長官警察署長など多數の出迎あり政府差廻しの自動車にてジユリオ氏同乘ホテルエスプラナーダに入り約二時間に亘つて密談を遂げた由である內容は何人も知るを得ないが次期大統領問題であつたことは想像に難からずコンデル氏は目下政界の流行兒で次の副大統領ではないかと見られてをる、それだけにジユリオ氏のもてなし振りは念が入つてゐた同日中に是非ともサントスに下る必要あり折柄汽車不通の爲め飛行機で歸つてはなどの話もあつたが結局自動車にて貯水池まで行きそれよりランチで堀割を通過してセーラ着再び汽車でサントス行電氣會社ライトでは途中貯水池附近でコンデル氏に午餐を供した

南大河州で政府黨敗る
解放氣分に充ちた南河州では先頃バジエー郡の選擧を行つたところ政府黨はきわどい差で負けた、即ち反對派二千七百四十一票に對し政府黨二千七百十八票といふところである、バジエー郡は南大河州內でも重要な所であるから今後も益々解放運動は盛んになるだらふと

投票權なし
パウリスタ女子に
エザウモラエス博士の意見

リオグランデノルテ州では女子の選擧權を認め二年前から之を行使させてをるに對し近來サンパウロ州でも女子の間に此の運動がある中でも女辯護士ドトーラ・ビッテンクール女子はさきがけになつて女子の選擧權を高調して居るが當の選擧裁判長エザウ・モラエス博士の意見では聯邦憲法第七十條にあるシダドンなる字は男姓市民に限り女子のことでないとのことである、これによると聖州婦人投票權なしと云ふことになり如何にも不合理だと昨今婦人界では問題になつてをる、婦人の選擧權どころか男子の選擧權がまだ滿足に行使出來ない

羅馬法王廳問題解決
ムソリーニ味をやる

多年の懸案であつた法王廳の政治的獨立はファシスタ政府の出現以來その可能性を信じられて居たが今回いよ〳〵双方の意見纒まり去る十一日を以て伊太利政府と羅馬法王廳との間に條約が締決された、條約は四十五條に分れて居るが、その內主要の點を擧ぐれば法王廳管內の郵便事務の獨立を始め外國に公使館を置くこと裁判事務の獨立、法王領の中立不可侵權等を取極めたものである頑固で獨裁で通つて居るムソリーニ宰相が締決したゞけで特に世界の興味をそゝつて居る

ゴムの强敵現れん
發明王エヂソン翁は八十二歳の誕生祝に發表して云ふ、天發ゴムと同じ物を生ずる樹を發見した、自動車王ヘンリーフオードは之れをジョルヂア州に試作するであらふと

南米一の美都に
リオデジヤネイロ市を
歷代の內閣が力瘤

何がなしブラジルでも世界一の物がなければならぬとは伯國政治家それには首府のリオ、デ、ジヤネトロを世界一の美しい都にせねばと一日も忘れたことないところ、黃熱病の撲滅は外國人にまかせても土木工事だけは怠らぬ熱心さで歷代の市長も土木工事さへ起せば評判がよく今度のアントニオ、プラード氏になつてからもリオ市美化工事はます〳〵盛んである、それの爲め外國新聞は頻りとほめて居るがこれがまたうれしくて振らず益々力瘤を入れる始末に市役所の財政はいつも窮乏、またしても借款を起さねば納りが付かずと

噴火
（紙上匿名は差支へなきも住所姓名明記なきは發表せず）

ペンナの賭博
ノロエステ線ペンナの賭博と云ふたなら一般の知るところ、中でも料理店八千代、次に伊勢屋最もさかんなり。八千代はバクチのため二十コントス以上の財產を作り先日ビリグイ方面に移轉し、目下盛んなるは伊勢屋にて最早三十コントス以上ノロエステ銀行に預けある由。附近の地主連も土地を低當にしてまでバクチで負け居る者數多し、旅館河尾にては一切バクチを打たせず、熊本縣人の大澤旅館にては晝も夜もバクチあり、泊り客大に迷惑いたす。主なるバクチ打は一昨年來熊本縣海外協會ペンナ支部長になつた山田喜一氏を始め熊本縣人が多し、私も熊本縣人なれどバクチは好まず。（憤慨生）

州議會　議事堂改築
現在の州政府政廳並に議事堂は昔建てたもので大サンパウロの發展につれ如何にも見すぼらしく殊にプラサジョアンメンデスの議事堂ときては貧弱そのものゝやうである所から政府も之れが改築の必要を認め委員を選んで之れが設計を急かしたが此程漸く完成した新議事堂は三階建とし中央に塔を設け堂々たるものにする由にて近く工事を競爭入札にする筈だと

不信認審案否決さる
（東京一日）帝國議會は日曜日なるに拘らず開會、民政黨提出の內閣不信認案は二百四十九票對百八十五票にて否決されたる由。

トラスト流行
さきにマタラゾ商會がさとうの買占を行つて世上の物議をかもして以來マッチのトラストが行はれつゝあるこれも判明したが其後更に南大河州に於けるバンニャのトラストが成立せん形勢である、買方は矢張り當市のマタラゾ商會であるが同州シチュアンテの反對あるにも拘らず近く正式調印を見る筈である、倘本社の聞知する所によればバイヤ州に於ける煙草もトラスト計畫がある由

不正肥料の調査
モヂダスクルゼス　松村兼作

領事館農事部に不正肥料の分析發表を望む、一体領事館の農事部では何を研究してゐるのであらふか今迄の出版物は直接吾人小農者に關係ある物が少い、輸出先とか倉庫業とか餘り遠大の理想で吾人田舍者には一寸解し兼ねる事計りで折角の名論卓說も陳啓扱にさるゝ事多くある、然ば何が必要であるかと云つて近頃聖市に日ゝ激增する不正肥料を調査分析して其良否を發表して聖市を中心とする小農者に教示する事だ、そして何會社の肥料は馬鈴薯に適すとか何會社はトマテに良いとかと云ふ樣にマルカを付けた小冊子又は新聞に發表して使用者に安心を與へるが刻下の急務であると思ふ、目下は秋薯の準備中にて又野菜や花野菜を定植時なれば出來得る事なら一日も早く着手して諸氏が肥料を買込む迄に分析の結果を發表して大に參考に供して貰いたい物である、夫から自分で混合肥料を作る場合骨粉を臺として作るには骨粉何基亦窒素、何基、加里、何基と云ふ樣に明示する事又施肥の方法も反當何程又はエクタレに何貫目等と書かず種薯一俵に付何キロと云ふ樣に明示して貰いたい、何となれば商賣違への俄百姓が澤山あるから農事專用の熟語では通用せぬ事が間ゝあるから成可く解り易く書く事を希望する當方面では大抵アルケレスに四十俵位が普通の種薯としてある、是を基準としても大差がないと思ふ百姓だからと云つても全部肥料の知識がある者でない、飛でもない混ぜ方をして可成り滑稽を演じて居る者も尠くない又不正肥料に依り大損害を蒙りし人もあるといふことである、兎角聖市附近の日本人が使用する肥料代丈けでも年に何百コントスの巨額に達して居るのであるから農事部でも此巨額の肥料代を白眼視せず大に着目して不正肥料を指摘して吾人に警告を與へ一般使用者に不正肥料に依る損害を末前に防止せられん事を希望する者である

又しても種の增へた　英國鐵道攻擊
サントス聖市間當分不通

州下院議員アルフレド・エリス氏一派が一日も早くサントス、サンパウロ間唯一の交通機關である英國鐵道を州有にせよと叫んでから雨に依り十三日より全線アルトダセーラ、ピヤサゲラ間不通となりたるに付き、又しても再燃を來たしソロカバナ線サントス連絡の急務を叫ぶもの多くなつた、利權囘收熱は今後機會ある每に叫ばれるものと信ぜらる

リオ民主黨機關紙　イムパルシャル社　全燒に逢ふ
損害千二百コントス

去る十三日未明、リオ市パセオ街七二番のビルデイングより出火同建物を全燒す、全ビルデイング內にはリオ民主黨機關紙オ・インパルシャル紙事務所並に印刷所あり損害約千二百コントスを算上す、因に本社の探聞する處に依れば恰も同日十一時會社の七百コントスの保險契約が成立する處であつたが署名するに至らずして此の厄に遭つた、取調べの結果階下のレストランド主人の保險詐僞と判明目下引續き取調中の由、民主黨は昨年以來御難つゞきで振はず

‖往　來‖
△中島總領事　九日リオより歸聖
△武部內務省技師　十四日リオ行
△大窪治　十二日出聖
△竹澤太一氏　十三日レヂストロより歸聖

種の話
▲中島總領事夫妻が先頃サントス經由でリオに往つた時のことさうな▲山出しの下女が、『旦那さん切符は何にしませうか』ときいたのもぢやげな▲『ア、二等でいいよ』そこはブラジル慣れぬものだからツイそう云つてしまつた▲下女君心得て切符を買つて來て渡し三人で乘込んだ▲間の悪い時は仕方がないもので折柄朝鮮總督府の鐵道技師佐藤周吉君のために鐵道會社が特別列車を提供してくれ總領事夫妻もそれへ同乘したものぢやげな▲汽車が動き出し車掌が來て切符拜見の段になるとこれはしたりコンスルが下等の青切符▲お付きの誰彼が飛出しこれはクリアーダが不慣れのため間違ひですと大汗で辯解して事すみになつたが下等切符で特別列車乘込みとは飛んだ縮尻ですとこぼすことゝこぼすこと

開業披露
農繁の砌各位益々御淸榮の段大賀の至りに御座候　今般私共事ニーロマルチンス氏の精米精珈場を讓り受け從來の同工場の附屬機械を新式マキナに取換へ左記の條項の下に來る三月一日より開業仕り候間多少に不係各位の御引立の程願上候

一、正直、親切、叮嚀、迅速
一、農產物の仲買及販賣
一、サントスの各コミサリオとの便宜を計る
一、倉庫業並に運搬業
一、時間は何時にても各位の御求めに應ず

リンス市オラボ・ビラツク五
廣木義人
淺野利實
Rua Olavo Bilac No. 5 LINS
Telephone N. 3 — Caixa Postal N. 203

各位

MACHINA JAPONEZA
BENEFICIA DE ARROZ E CAFÉ
Gempra Cereaes e Café
Hiroki Assano & Cia.
Rua Olavo Bi'ac, 5 - Teleph., 3
LINS NOROESTE

マキナ・ジヤポネーザ
一、精米、精珈
一、倉庫業並に運搬業
一、農產物仲買及販賣
一、サントスの各コミサリオの便宜を計る
一、時間は何時にても御求めに應ず
リンス市
廣木淺野共同商會
電話……三　郵函……二〇三

移轉廣告
拜啓今般事業擴張の爲左記に移轉仕候間從前通り御愛顧の程懇願仕り候
LUIGI MELAI
ESCRIPTORIO TECHNICO - AGRICOLA
Rua Florencio de Abreu, 3

營業品目
各種草花、牧草、野菜、果樹等の優良種子
噴霧機、ポンプ、アラード、播種器、其他精巧なる農業用機械一切
栽枝、接木用各種器具
アヅーボ各種

Ford
AGENCIA FORD DO BRAZ
Alexandre Hornstein & Cia.
物凄い新型フオードの賣行きは
新型フオードの輕快と堅牢、すばらしい索引力
そして經濟な事
と共に現代自動車界の驚異です
◎是非一度御來店下さい◎
アベニーダ・ランゼルペスタナ一八五　電話　九…一一五三
工場　ブレッセル街二六五　電話　九…〇三二一

HOTEL CARLTON
Rua Libero Badaró 26-1.
ホテルカールトンは
何故澤山の日本人方から御贔負に預つて居るのでせうか
市中目拔の場所で、日本領事館は左隣り四軒目使用人達の親切丁寧、かゆい所に手の届く樣な客扱ひ、室は市內と思はれぬ閑靜で、しかも淸潔、お美味しいお食事、そして大勉强のお値段
◎御出聖の際は是非
ホテル・カールトンへ

大阪商船會社
早くて確實な優秀の大型客船（命令定期每月一回）
◎日本へ
まにら丸
三月十一日　サントス發
三月十三日　リオ發
◎有名なパナマ運河北米諸港を御見物の好機
◎日本より
もんてびでお丸
三月十九日　サントス着
三月二十日　リオ着
ANTUNES DOS SANTOS & CIA.
S. Paulo: - Rua Barão de Itapetininga, 39-41 A
Santos - Rua do Commercio, 84
日本より家族御呼寄せの方は船賃を當地で拂込願へば日本・サントス乘船切符（指圖書）を發行致します
細詳は左記へ御照會を願ひます
サントス駐在員　酒寄守

受難婚【六】

藤村かな子

もう方々の店々ではすつかり大戸を下してしまつてゐて、たゞ街路樹の下のアーク燈が力の薄淡い光を雨の中へ流してゐた。

しつとりと靜かな氣もちで三人はたゞ歩いた。

やがて山田氏は、低い靜かな、いかにも病後の人を思はせる調子で彼女等二人のこの結婚を祝すのだつた。さうしてその結婚はいかに理想的に結ばれて來たか、またさうした結婚のいかに幸福なものであるか、取り分け金澤氏の如き人と生涯のちかひを結ぶに至つた彼女の幸運と總明さこそは何物にも代りがない喜こびである事を繰り返し述べるのだつた。

葉子は、自分の心なぞ無論知つてゐやう筈もない金澤氏の、さうした言葉を致方のないものとは思ひながら、だがあまりにもかけはなれた自分の心をしみ〲と感じて、たまらなく自分から哀れになつて來るのだつた。

さうして、

『いゝえ山田さん、それは違ひますわ、私はあの方を戀しては居りませんの、私の心は決してあなたのおつしやるやうなそんなきれいなものではありませんの、そりあ私の心のうちにも金澤氏を思ふ心がたしかに何分の一かは占めて居ませう、だが併し、これがあの可憐なお夏とお七を狂亂と極刑とに依つて死なしめた、あのきやう暴な嵐にも似た戀とどうして同一なものだと思ふ事が出來ませう！　いゝえいゝえ戀とは決して〲こんなものではありませんわ――』

葉子はかう叫ばうとして何度か止めた。だが愚かにも哀れな、さうして醜い自分自身にただ嫌惡を感じるのだつた。

彼女はもう彼女自身をどこかへ棄てゝしまいたかつた。

もうすでに具体的の事にまで進んで行つた二人の話も、彼女を無二のものゝ樣にいつくしんで來てくれた伯父の强かうな反對に會つて座折した。

だが金澤氏の何物をも動さないではおかないやうなその熱誠は遂に伯父の心を和げた。

結納を持つた人が來た。樣々の調度が彼女のために日々調へられて行つた。だが葉子の心はちつともそれにともなつて行かうとはしなかつた。その上もう間もなく別れなければならない處女の日に對する限りない哀惜の念と、彼女自身の肉体に對する大きな不安には、一層濃く大きく擴がつて彼女の心をます〲せうさうと混亂とにたち入らせて行くのだつた。

けれども月日は彼女のために少しも待たうとはしなかつた。とう〲その日は來た。葉子は美しくよそほはれて式場へ運ばれた。續いて披露もすぐその席亭で行はれた。

葉子がそこで覺つてゐた事はいつも粗々つかしい彼女が相變らず三々九度の盃を落してしまつた事と、それからなんとかと云ふ金澤氏の會社の重役が、いかにもとんちんかんな苦しさうな祝辭を述べてくれた事と、さうして彼等二人の定めの席に新郎新婦と書いてあつた事だつた。

取り分け新郎と書かれたその文字ははげしく彼女の胸を射た。

『いゝえいゝえ皆さん、この人は新郎ではありませんの――』

彼女は思はずかう叫ばうとしてはつとした。

彼女等の結婚に先立つて歸鄕した山田氏から喜びの電報が來た。

『おめでとう、ばんざい。私とお前は岩間の淸水、はたでさすとも、にごりやせぬ』

葉子はあの低聲なとつぺつなそれでゐて、たくまずに面白い事を云ふ山田氏の面影を思ひ浮べて思はず微笑した。

明る日の夕、彼女はもう京都の客となつてゐた。

一と昔半（六）

東京にて　杉山帆影

二〇、闇に咲く花

あの十二階下で有名だつた、すばらしくばつ跋してゐた淺草の私娼窟、こゝに名殘をとどめてゐるのは横濱の吉岡町、背中合せの伊勢津町アベニーダは、夜も電燈晝と欺く中に、明るい生の流れがあるに、うす暗い幾曲りかの狹い露路をはさんで、立ち込んだ二百戸餘りの女名前の家々、いつも開け放しの格子戸を入つて二尺に足りないあがりぐちの土間を鍵手に曲ると、障子の影に半身かくした闇に咲く花、それを又軒別にのぞき廻る老若の惡玉善玉が、終日隔の月も見ぬやうにじめ〲したベストや、コレラ赤痢やの菌がウヨ〲してゐる相な、芥箱から夜目にも白く光つて水が流れ出してゐる薄氣味の惡い狹い露路内を、蟻の行列のやうにむらがり立つてゐる。

張見世は絕對に禁じられてゐる各遊廓の娼妓は、月一回の公休日に新造や、やりてに連れられて、先づ目指すは淺草公園の澤正劇、それも此頃の不景氣に遊客少なくキチン〲と公給を與へぬ棲主がが多い、娼妓の方も理智になつて、身上りせうなどとは野暮の骨頂、郵便貯金帳をお守代りに肌身につけたり馴染客の玉割勘定に、間違があつたら棲主につゝまがと、算盤をパチくる。

鬪の戸や紅葉狩の舞臺のやうに花樹や紅葉の立木を飾りつけカルナバルにでもあり相なサロンのしつらへ、或はまたわざと電燈に厚い笠をかむせて、陰慘な暗い感じを與へて、やたらに佛蘭西名のつけられたカフェー、そこには錦沙何とかのキモノをひけらかし大きなお太鼓に結んだ帶を背中にかつだいとも美しく化粧をしたモーダンのお孃さん、いつまでもお客の卓の側に直立して、チップと親切振とのバランスに苦心、コクテル一杯飲んだつて、このお孃さんから名刺を出されて見込まれたら最後五圓のチップを出さにや男がすたると云ひます。

映畫女優が時を得顏にはびこると反比例に、藝者衆のかげが薄れて行く、カフェーのお孃さんがのさばるにつれて、娼妓のしかけのめりんすが色あせて行く時は流れる、時代は遷る。本牧に軒を並べたチャブ屋――おつと之は失禮、ホテルからは蓄音機のジャズが、岸洗ふ東京灣の波に和して、ダンサーの引摺るキルク草履の調子を取る。

二十一、アデウス、ジボン

十五年振で故國へ歸つて見て痛切に感じる事は自分が、片つちんばな人間になつてしまつたと云ふ事だ。

日本式の旅館には、ふすまや障子で仕切られた室の中には、のぞかれてでもゐるやうな氣分がして無氣味で寢つかれない、疊の上に脚を曲げて坐はれなくなつてゐるふとんを敷いて寢て見る、背中が痛くてしかたがない、夜具をかけると、重いばかりで襟元がぞく〲寒い、小さな固い枕に、朝眼がさめると頭がしびれてゐる、日本の女が、あの箱枕をして平氣で寢てゐるのを見ると、何んだか奇せきのやうに思はれる、錢湯へ行かうにも人前で裸体になれなくなつてしまつてゐる。カフェーへ行く相手に出て來るお孃さんの着物は魅惑的だが、カフェーは漉し袋を洗つた水のやう、本氣か見得か醉つぱらつた學生達の、放從な怒號に胸が惡くなる……かうして日本の生活とは非常にチグハグな人間になつてしまつてゐる、然しさうした事を話しても先方から見れば二十年だらうが三十年だらうがいくら海外にゐたつて、矢張り日本人なのだから、そんなことを云ふのは氣障か見得ばうか生意氣な、そして所謂振りたがるのだ、位にしか理解して吳れない、然し私はこれは長く外國生活した者が、日本へ歸つて味ふ惱みの一つではないかと思ふ。

十五年振で歸つた日本に、惡口ばかり云つてしまつたやうだ、然しあの素晴らしい文化振りについては、今更並べたてる要もないと思つたからである、十五年も南半球の一角にくすぶつて居た者には松阪屋七階の屋上動物園に、ライオンや虎のうづくまつて居るのを見るのは、ほんとに一つの驚異である、かつらでもあるやうに、一糸亂れず結ひ上げた日本髮、派手な衣裳の裾長く、靜かに日和下駄をアスファルトのほ道に、摺り鳴らして行く女の後姿を見る時、いつまでも私は見惚れて居る……でももう豫定の滯在期間も過がてしまつて、さういつまでも日本髮の女の後姿に、見惚れて居ることが出來なくなつた、特に身に染む日本の寒さの强さをのがれて、珈琲實る、女の顏の溫いサンタ・クルスの地へ歸る爲、雪積む富士の靈峰に、別れを告ける日が迫つた

アデウス・オー・ジャポン！

今度は半歲振りでブラジルへ歸る、さいころの目のまわり合せ、振出しへ戻つて二度目の見參とござい……。

―（終）―

（一九二八 一二 二八 東京にて）

アリアンサ陸稻會句集

『題』清水、晝寢

呼び淸水、樋の干割れに芊せり　籬女
濯ぎ女の指す方の淸水かな　同
壺置きて語り耽れる淸水かな　同
おん晝寢芭蕉葉を敷き參らする　同
蜂鳥や晝寢靜もる梁の上　同
大木の蔭移ろひぬ晝寢覺め　掬二
蛙子の一ッひそみし淸水かな　同
腹這ひて膝濡したり草淸水　同
病葉の一葉浮びし淸水哉　同
筧もて淸水引きあり峠茶屋　芦庵
共同の假小屋建てり淸水處　同
病人の熟眠せし間を晝寢哉　同
獨身のこだはりもなき晝寢哉　同
舊道やしのぶ淸水の茶店あと　圭石
帽取りに立戻りたる淸水かな　同
讓り合ひ起し合ひたる晝寢哉　同
狩り暮す此所にも淸水ありけり　ゆたか
又此所に淸水湧き居り鹿の跡　同
山伐りや淸水が許に小屋移す　同
黑人の妻が手洗ふ淸水かな　佐和太
集會に隣さそへば晝寢哉　同
新開地淸水を占めて機先せぬ　香露
せゝらぎに足を止めて汲む淸水　同

測量、製圖、建築
電氣用諸機械据付
見積計畫、土地調査、道路工事請負
並設計
其他土木に關する一切のお求めに應じます
土木技師　野村秀吉
北西線　プロミッソン　郵函八

コンデ四九
とうふ
もりした

Ao REGULDOR FOX
RELOJOARIA
RUA QUINTINO BOCAYUVA No. 11
修繕は迅速確實で組立はスイス式
內外各種の 時計 お好み次第
日本人諸君には殊に割引致します

CLINICA DENTARIA
Rua Conde de Sarzedas, 9 - TEL. 2-3029
齒科醫院
村上眞一郎
聖市コンデ・デ・サルゼーダス十二
電話 二…三〇二九番
（中矢商店筋向ひ）

OFFICINA
Mechanica de Armas
營業課目
各種銃器修繕、鍍金、其他蓄音機
ミシン、タイプライター修繕
渡邊銃器修繕所
聖市 イルマン・シ・プリシオナ一八
電話 二一二六二四

並製酢
上等醬油
◎多少に拘はらず御用命下さい
アゼベード・ジュニオール一六
大野鶴龜釀造所

矢部ザカレ
共同洋服店
米國最新型、迅速叮寧、安價
お急ぎの場合は十二時間で仕立ます期日迄に出來上らねば代金は申受けません
月賦の便あり
Praça da Sé, 9 - 2 and. Sala6
Telephone 2-4364

Y. KINJO
CIRURGIÃO DENTISTA
Rua Vergueiro, 123
TELPH, 7-3384 - S. PAULO
齒科醫　金城山戸
聖市ヴェルゲイロ一二三

KELMANN IRMÃOS
& PETERS LTD.
Rua das Flores 46 - Caixa, 1970
SÃO PAULO
Insecticidas e Fungicidas "Bayer"

ウスプルン・ユニベルサル
本劑はアロイス、ミリヨ、綿、野菜類及びバタチイニヤの殺菌消毒を目的として砒素と水銀との有機体を基として調合されてあり特にバタチイニヤに其の効著しく、在聖市日本帝國總領事館農事部がコチヤ山下龜吉氏農場に於て御試驗の結果優秀にして且經濟的なる種芋消毒劑なる事日伯新聞第六百十一號に御發表ありしものであります
ウスプルン・ユニベルサル及バアヤー殺虫劑及消毒劑の目錄表御一報次第進呈
NOSPIRIT（はバタチイニヤト、マテ共他の病虫害に特効あり
NOSPRASIT（はバタチイニヤ、トマテ等のバキーニア殺虫の速効藥

Casa Uehara
食料品及雜貨販賣
歸國者御用達
上原商店
ラルゴ セテ デ セテンブロ 十六
サントス市 電話 一八〇四

ALFAIATARIA ICHIE
Rua Conde de Sarzedas, 43
シンガーミシン會社と取次販賣の契約を致しました何程御用命下さい尙市內御在住の方には月賦拂の便宜をお計ひします
歐米最新型洋服仕立は丁寧に迅速に期日は確實に調製致します
石井洋服店
コンデ街 四三 （常盤旅館隣）
電話 二一六一七三

心がけのよい人はフダン必要な藥を家庭にソナヘておくものです

Laboratorio Chimico Pharmaco. "Japonez"
RUA ASSEMBLÉA, 81
SÃO PAULO

左の宛名をキリトリて手紙の表に御ハリ下さい
身体の惡いときは先づ第一に此の廣告を御覽下さい

病氣になつたらその初めに充分に手當をなさい手後れとなるとドンナ名醫も治療がムツカシクなります

タカ點眼藥	トラホーム、ハヤリメ、タヾレメ、ツカレメ等によし
タカ胃散	日本人の体質に合へる信用出來る唯一の胃腸の藥
タカ膏藥	メン チヨウ、ヨウ。等すべて痛みあるデキモノの特効スヒダシ藥
ビシノール軟膏	土マケ、タムシ、カユミあるデキモノ等皮膚病の特効藥
ポリヂアスターゼ	一時間に三五〇倍の澱粉を消化する世界中で最も强力の消化劑、肉及び脂肪を消化する酵素も多量に含んでおります
ポリビタミーナ	病後の回復時、產前產後、亦胸の病氣のある人に必要な理想的强壯劑、脚氣に特効あるは皆さんの御存じの事です
衞生ハミガキ粉	タバコをノム人は是否此の藥用衞生ハミガキ粉を用ひよ

【特製調劑】

サントニン錠	虫下し藥	アスピリーナ錠	熱サマシ頭痛リユマチ
甘汞錠	毒消し、腸殺菌藥	ユーキニーネ錠	老人、小兒の熱さまし
次硝酸蒼鉛錠	下痢止め	鹽酸キニーネ錠	マレータの特効藥
芳香ヒマシ油	下シ藥	クレオソート合劑	齒痛み止め
芳香アンモニア水	氣付け藥	ヨヂムチンキ	

◉販賣所　有名な日本人商店及びフアルマシア

通信病院　病氣にて御コマリの方は病氣の樣子をコマカク書いて御通知下されば、それぞれ專門の醫師に問ひ合せ御返事致します

大河內藥化學研究所
電話 二…四八一八

母國近信

紛糾に紛糾の
ブラジル拓殖

海外移住組合聯合會總會は内務省社會局に於て開かれ先に理事會で決定した

一、ブラジル持分組合法に依る有限責任ブラジル拓殖組合設立の件

其の他數件を附議して審議したが議論紛糾して纏らず、これ等の重要案件は更に日を改めて總會を開き決定する事になり聯合會の豫算決算のみを議決して散會した

元來海外移住組合は官吏或は官吏の古手を役員としてゐる關係上移民との聯絡充分ならずブラジル政府より證認されてゐない狀態にあるので右組合の外交機關として持合組合を設立しやうと云ふことになつたが、守屋榮夫氏などは裏面より反對運動などしてゐる事實があり内面的に相當複雜してをり今後更に紛糾するものと見られ前途多難を豫想されてゐる

震災善後公債

政府は昭和三年度震災善後公債新規發行豫定額中未濟にかゝる六千餘萬圓のうち二千五百萬圓を豫金部引受の方法で發行した、發行價格は額面百圓につき九十二圓四十錢である

鐵道敷設免許

鐵道省では左の鐵道に對し敷設免許の指令を發した

高尾電氣鐵道（京都）
建設費　百五十万圓
丸岡鐵道（福井）
建設費　十六萬八千圓
米子電氣軌道（鳥取）
建設費　六十六萬圓
三重合同電氣（三重）
建設費六十二萬圓
鹿兒島市營電軌（鹿兒島）
建設費　四十五萬圓

阪神增資認可

阪神電鐵の倍額增資は豫て株主總會の決議を取り鐵道省に向つて認可申請中であつたが、此の程內認可の指令があつたから豫定通り實行するはずである

十三巻き
赤道を巻くこと

我が國の民間飛行家が昨年度一ケ年間に實際に飛行した成績は豫て航空局に於て調査中であつたが、總飛行距離は實に七十六萬六千八百キロメートルと云ふ空前の大數字を示し、赤道を廻る事十三回、同じく飛行時間は五千六百八十八時間、丁度二百三十七晝夜に相當し、現在の飛行士總數二百二十七名の一人當り平均三千三百七十七キロメートル飛んだ事になる

極寒と暴風雪
西日本一帶をおそふ

正月二日薄れ日を蔽ふ鈍銀色の雪雲が去來する、元旦の荒天をうけて裏日本一帶から北海道にかけて風雪强く朝鮮海峽附近及び九州より關東へかけての表日本にもちらほら紛雪舞始め、各地に船舶その他の被害をもたらしてゐる

北陸線　一帶をおそつた北西の暴風雪益々猛烈を加へ殊に日本海に直面し親不知の難所を控へた市振靑海間には丈餘の怒濤しう來して市振驛はこれが爲め轉轍機など砂利の爲め埋沒不能、人畜に被害多し
また親不知驛下より遠方信號機より約八百米突の西方線路約三百米突は海浪にさらはれ運轉不能にをちいる

金澤地方は北西の風雪烈しく氣溫氷點下四度五分に下つて大寒中でも近年珍らしき寒氣を見せ街路を始め總て氷結し、これが爲め金澤郵便局の電信、電話の被害少なからず直江津神戶各電線、神戶新潟直江津京都間の電線不通

山陰地方一帶猛烈な吹雪おそひ氣溫零度九に低下し、吹雪と氣溫低下の爲め山陰線各驛の轉轍機は大部分凍結轉轍不能の爲め伯備線の運轉は亂れ勝ち
鳥取松江地方にも大降雪熊本地方は近年にない寒さで朝から粉雪がふり活動中の阿蘇山は雪化粧をなし美觀を呈してゐる

明治節記念塔
建設認可の

明治節記念塔奉建會が比えい山に建設せんとせし明治節記念塔はアーク燈の光强く、塔柱の合金は共に鳥類に脅威を與へるとの靈鳥保護論者の意圖で長らく往き難んでゐたが、縣も愼重な態度を持してこれに當り今日まで認可を延してゐたが、前後の事情を考慮し突如左の條件付きで記念塔建設を認可した

一、アーク燈は四方拜、紀元節、明治節を除いて他は點燈せぬ事
一、臺石には花崗岩を用ひ光澤を出さぬ事
一、アーク燈の燭光は一萬光以下の事、等

第四船渠
東洋一の

東洋一を誇る吳工廠第四ドックは此の程築造殆んど完成したので、此の程川崎造船所で作製した扉船をいよいよ取据へる事になり濾過に全部の斷水を行ふ事になつた

物產共進會
宇和島市と制十週年

昭和五年は宇和島市制が敷かれてから十週年に相當するので宇和島市では四國物產共進會を開催する計畫あり、市勤業課では豫算の許す限り相當大規模なものにする意向で今年度豫算には二千五百圓を要求し、着々準備調査は進められてゐる、共進會の目的達成には當然外面的援助を必要とし他の共進會と同樣市商工會を中心とする市內各商工團体をもつて協贊會を組織し、大体に於て豫算約十萬圓で既設建物の利を廢し適當地に會場を新設四國全國はもとより九州中國阪神の出品を勸誘、適宜特設館參考館を增設する計畫である

ちよ牛の記念塔
逝いて二十八年目

文豪高山樗牛が死んで二十七年駿河の龍華寺の墓も大分毀はれてゐるので永久的な記念碑を作らうと云ふ樗牛會の意見で姉崎博士笹川臨風氏等が主となり計畫を進め、朝倉文夫氏に囑して高さ二尺餘の胸像を墓碑の上に据へることゝなり今月廿三日頃除幕式を擧行する筈で最近その塑像が出來あがつた

再生の大坂城公園
歷史を背景に

一時は募集難をつたへられて居た大阪市の御大典記念事業である大阪城公園及天守閣復興事業の寄附金も舊臘三井、岩崎兩家から五萬づつの大口寄附の內諾もあつて今一息で豫定額の百五十萬圓に達するといふ際どいところ迄漕ぎつけたので、市當局はいよ〱今月末開會される市會にこれが豫算を提出すべく準備を進めてゐるとは既報の通りなるが、公園計畫については目下公園課で立案中で公園の中心をなすものは司令部の移轉跡及紀川御殿の前庭約く六千坪の地域で林間を縫ふ遊歩道を開き日本式庭園の風致を出すことに務めてゐる。天守閣西側の一千坪には簡單な運動器具を設備し兒童の遊戲場とし小動物園などを設けその隣りにはお上りさん相手の食堂休憩所などをつくると、總て歷史を背景として大阪市の代表公園する計畫である

世相百態

▲三子の魂百迄も　埼玉縣浦和中山りわは七十八才の高齡だが惡いことはやまず前科五犯先頃或る百貨店で萬引で捕へられる、萬引總高五六千圓に及ぶと

▲一件記錄古色蒼然　氣の長い訴訟沙汰があればあるもの、一審だけで二十二年といふ長い訴訟事件が大阪地方裁判所で和解成立した、出訴理由は浦和丸（五二八トン）か明治四十年一月十五日午後八時六連島燈臺沖で下關を發し釜山へ航行中の大有丸と衝突、それは大有丸の過失に依るものと損害賠償の訴を起したもの一件書類の如きも古色蒼然たるものがある。

▲可動橋が不動橋　大阪港區福崎町の木津、尻無の兩川をつなぐ運河に架けた日本に珍しい大阪臨港鐵道の可動橋が去月二十六日橋を吊るロープが卷上げ機にくひ込んで橋がゆがんで宙ぶらりになつた爲め不動橋となる。爲めに汽車も汽船も立往生。

▲最も古い湖沼中の島　琵琶湖に沖の島といふ島がある、湖沼中の島にして一千年に渡る人文の歷史を有するものは沖の島だけと云ふ、文明史上貴重な島。

▲今樣モ伯の仕業か　大阪城の東南隅にあるやぐらのそばの地盤が沈下し始めた、そこは丁度大阪衞戍刑務所の監房のある處などで今樣モンテ・クリスト伯の仕業ではなからうかと妙に探偵氣分にそゝられてゐる者もあるが實際は拔け穴のあつた所らしい。

▲不景氣よそに變つた現象　深刻な不景氣風に惱まされてゐる、此頃三味線の賣れ行きを調べて見ると、此の世界でも不景氣には勝てず前年に比べると良く賣る店で十日に三棹、不景氣な師走をよそに、いとも長閑に奏でるのは矢張金のあるサラリーマンのおくさんお孃さん等その外退職官吏や軍人で藝者や商賣人には皆無。

▲銀座街頭に表はれた裸体美人　正月十日眞晝間寒風ものともせず銀座某百貨店の前を踊り狂ふ、二十娘、たちまち護送車で送られたが、物見高いは江戶の常、聞つたへた助平野郎でたちまち黑山の樣な人だかりだが可愛想なは狂人娘某カフェーに働いてゐる內出來た男に捨てられた結果だと。

伊藤齒科醫院
伊藤達馬
ヴライゾ・コンセイサン
ビリグイ

MISSÃO JAPONEZA DO BRASIL
聖州義塾
寄宿舍、夜學校
葡語通信教授
主任 小林美登利
サンパウロ市ガルボンブエノ八十五
サンパウロ教會
日曜學校（午後四時）
大人集會（午後八時）
Caixa, 2-z - S. Paulo

貨自動車は同胞運轉手の居る
Garage Congresso
Teleph. 2-0081
ガラージ コングレツソ
電話 二…〇〇八一
プラツサ・ジオンメンデス

Dr. K. DAIAN
MEDICO
ARAÇATUBA
大庵喜八
アラサツーバ
大原商店隣

PHARMACIA BASTOS
AV. TIRADENTE, 14
アバレ市に於て永らく日本人諸君の御愛顧を蒙りましたバストス藥店は今度聖市ルス驛傍の上記の所で開業致しました、確實、安價、迅速を標語に營業致しますから是非共御用命下さい
注射も充分な經驗を以て致します夜間も御用命に應じます

成功館
大阪商船會社仲次
伯國產鰹節製造元
古謝將義
サントス市 ラルゴ・セッテ・デ・セテンブロ一五
電話 二〇〇八

大阪商船會社
日本郵船會社
國際汽船會社
御用達
各船舶に食糧賣込業
ヤマカ合資商會
前田、小淵、合同經營
サントス港マルチン・アホンソ四一 電話 一九七三

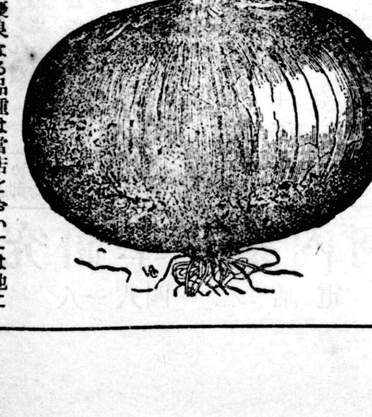
北パラナ、珈琲地帶
Kaito Ussui. Caixa, 140 Cambará E.F.S.P.P.
御望の方は多少不關臼井介仁事務所へ御問合せを乞ふ

ARMOUR
OF BRASIL CORPORATION
FRIGORIFICO S. PAULO
Alameda Cleveland, 34-a - Caixa, "T" - S. Paulo
アルモール會社
調製の肥料は既に長年日本人農家諸君の間に定評があります、當社工場で調製に係る肥料は左の如し
屠殺殘物肥料 (Adubos Frigorifico)
千キロに付 三百八十釬
窒素含有量 四・五〇%
骨燐含有量 二八—三八%
乾血肥料 (Sangue Secco)
千キロに付 六百五十釬
窒素含有量 一四%
養豚飼料
千キロに付 四百六十釬
サンパウロ郊外アナスタシオ工場渡し
日本人諸君の御便利を計りアラメーダ・タラヴランド三四Aに澤山ストツキを置く事に致しました

小淵通關手續取扱事務所
主任 小淵友市
Rua Senador Feijó, 473 - Caixa, 657 SANTOS

HOTEL PAZ
Praça José Bonifacio, 51
SANTOS
ホテル平和
サントスでお泊りは是非本館へ
館主 小濱松助
大阪商船切符取次所

Hotel S. Paulo
Rua Generar Osorio, 24
TEL. 390
Ribeirão Preto
御旅館サンパウロ
お泊りの節は休み心地のよい、そしてコミーダのおいしいので評判の……當館へ
館主 島崎岩吉
リベロン・プレート停車場通二四
電話……三九〇番

CASA DAS SEMENTES
CARLOS CORRADINI
RUA S. CAETANO No. 42 — TEL. 4-637 S. PAULO
飛切り新しい種子
當店の種子はヨーロッパ栽培者よりの直輸入にして特にセボーラの種子は大方の諸彥より賞讃されております

發芽の正確と優良なる品種は當店をおいては他に有りません
若し發芽せぬ場合は代金を返却致します
セボーラ・デ・カナリヤ、アルゼンチーナ、リオグランデ種等等、セボーラ種子は、各種共一キロ三〇釬、十キロ以上キロに付き二十五釬

移轉廣告
謹啓各位益々御淸祥の段欣慶に奉存候陳は今般都合上バロン・デ・イタペチニンガの本店をサンタ・エフィジエニア街十一Aに移し候間相變らず御引立の程伏して懇願申上候
カーザ東京
杉本芳之助
Secção de Venda: Rua Sta. Ephigenia, 11A Tel. 4-6487
Fabrica: Av. Rudge, 35 Tel. 5-5344
Residencia: Rua José Maria Lisboa, 158 Tel. 4-3537
Caixa Postal, 1005 - S. Paulo

VENDEM SE TERRAS PARA CAFÉ
Proprietario Dr. Alvaro Macedo Guimarães
土地賣出し
一、地區地形最も良好パウダーリヨ、フイゲラブランコ、ウルチーガの地質にて珈琲其他の作物に最も適當
一、風土病無く健康地帶
一、場所は有名なるアルトカフエザル町（マリリア驛）より西南二十六キロメートル
一、面積四千アルケーレス
一、分讓する一ロッテは十アルケーレス以上とす
一、代價一アルケール五百ミルレースより七百ミルレース特等八百ミルレース
一、代金支拂方法　四回年賦（但し未拂の部分に對して年一割の利息を要し即金全拂は一割引）
一、地權は最も確實にて將來の保證附きにて登記す
一、交通　マリリア驛よりソロカバナ線アシス驛まで每日乘合自動車往復し此土地の中央を通行する右道路の外賣出し地內へ數條の自動車道を縱橫に開通する豫定にて工事中
一、御照會又は御視察は松原安太郎宛に願ひます
代理人 松原安太郎
內藤眞
業務員 玉置隆三
Y. MATSUBARA
Rua Matto Grosso - Caixa, 19
E, Marilia L. Paulista

邦人小學校問題

ケー生

過般ノロ線に起つた閉鎖問題から邦人經營の小學校が如何の程度迄合法的に出來て居るかが甚だ心元ないことになつて來た、幸に閉鎖問題はノロ線の十數校を犧牲にしただけで他方面には別段心配するやうな事も起らなかつたが此問題は今日の儘では何時何處に再燃しないとも限らぬ、日本人の小學校が今のアイマイな基礎の上に立つて居る以上は何時でも我々は一片の閉鎖命令で數十の學童の學業の中絶と十數又は數十コントスの建築費を棒に振る覺悟を持つてゐなければならぬ。

抑も日本人の學校經營なるものが初めから全然正規の手續を踏んで居ない、先づ第一に學校の經營者なる團体が伯國の法律に據つて登記してない即ち法人になつてゐない、それ故出來た學校が何人の所有財産か分明せぬ、地方役場では若し學校建設の届出があれば多分届出者を所有者として登記して居るのであらう、學校が個人の所有である場合と公共團体の所有である場合とに伯國政府より與へらるゝ便宜に何等かの差異あるか如何かはしばらく別問題として、それが甲某の所有になつて居れば若し甲某が自分の都合で歸國するかその所有地を賣拂ふかした時には前者の場合は學校の所有者がなくなり後者の場合は學校は買受人のものになつてしまふ、買受人が日本人なら先づいゝとして外人ででもあつた時は取崩して薪にしてしまはれても仕方があるまい、折角寄附金を集めたり補助金を貰つたりして作り上げた學校が一朝にして薪になつてしまふなどは餘りと云へば情ない次第だがそんなことは絶体にないと誰が保證出來る、日本人小學校の經營上の不安の第一段は茲にある、又學校建設に補助金を與へて居る領事館は大切な國幣を費すに安全に目的の爲に使用さるゝと云ふ保證を取つて居るか如何か若し取つて居なければ責任の大部分は領事館が負はねばならぬ、領事館が法律上責任の歸する所の明かでない何々日本人會など云ふのへ漫然補助金を與へてゐるのが抑もの間違いである。

次に學校の建設が地方役場に登記される、たとへそれが伯人の名義にせよ校舍の存在が表面に認められた時それを伯國の小學校として法令に準じて經營するかと云ふと之が甚だ疑問である、現在の日本人の小學校の十中の九は否全部は地方官憲の默認を唯一の賴りとして戰々恐々と迄は行かなくとも少くも何となく一抹の不安を感じながら經營を續けて居るのである何時授業停止を喰ふかも知れないと思ひながらやるのでは生徒は兎に角先生なるものは勢ひ浮腰にならざるを得まい、今時小學校の先生を以て終生の事業と心得る程の馬鹿〳〵しい殊勝な心掛の者は居ないにしても敎育には幾何かの誠意を持つて貰はなければ決して實績は擧らぬ、而して何時飯の食ひ上げになるかも知れぬと思ひながらは折角の誠意も遂に生活の安定の方へ鞍替するだらう、斯くして腰掛仕事のナブリモノになる子供こそ誠に可憐なものである、事の茲に至るのは學校を州政府に認めて貰ひながら敎授の樣式を小學校令に據つて行はない爲めに起るので日本人が矢鱈と日本語を敎へたがるのがその因をなしてゐるが之に日本人側ばかりでなく州政府にも事情已むを得ないにしても甚だ不都合と言ふべき點がある。

日本人が田舍で學校を建てると之を州政府公認として貰ふのは左のみ面倒ではないらしい、それでも各地に公認學校なるものが澤山ある。此等の公認學校には州政府の敎員を派遣するのであるが事實は學校だけは公認して置きながら敎師は容易なことで送つて來ない。政府が敎師を送つて來るか現在の敎師がやめて復任が來る迄學校を始めず休んで居りさへすれば差支へ無のだが折角作つた學校を永く始めずに置いたり休ませて置くのは日本人の性質として仲々出來難く、又敎育される兒童にも甚だ迷惑な次第である。一方例のむやみと日本語敎育を施したい希望もあるので茲に日本人敎師採用と言ふ第二段非合法の素因が出來上る。

抑も伯國小學敎員は師範學校を出たものを正敎員とし之に當該官憲の認許を得て補師又は代用敎員となり得るものを合せて二種に區分し得る、所が日本人で小學敎員になる樣な者に限つてたとへ日本で大學を出て來た人にしても葡語は大抵駄目である。之は永いこと當地に居て葡語の能く話せる書ける程の者は先生などやるには餘りに金儲けを尊重して月給四五百ミルで田舍へ納まらうなど云ふものがないからで從つて小學校先生で代用敎員の試驗を受け得る者もあるまい。又受けやうと心掛ける者も居ない。結局モグリで或期間押し通しその中に甘い事でもあつたら足を洗ふ(は少しヒドイ)がとする之が第二段の非合法の素因が浸性になつてゐる現狀である。

以上二つの非合法素因の上に御丁寧に敎育會と云ふオマケが付いて居る敎育會も他の何々日本人會と同樣伯國の法律に依る法人になつて居ない。それだけなら末だいゝが明に日本政府から來る補助金を使つて他所目には伯國の內政而かもその最も大切な初等敎育に容喙するかの觀を與へる仕事をして居る。幸に現在の敎育會は餘り目立つ樣な仕事をして居ないからいゝとして之が徐々に日本人學校の實際に役立つ樣な事業例令敎科書の編纂でもやり出したらそれこそ大問題を惹起するかも知れない。而して斯樣に敎育會を伯人から誤解さるゝ樣なものに作り上げやうとしてゐるのは一に同會の本質が憮つかり定まつてないに因る、今からでも遲くないから同會をして全く伯國法令に抵觸しない範圍で活動し得る定款を有つ法人としてハッキリと働かせることが必要だ領事館の御膝元が非合法の本家では困るでないか。

と之だけ惡口はたゝいたが私と雖も日本人學校の現狀に全く同情がない譯ではない。學校經營者の何々會が法人になつてゐないことも經營がブラジル法令に據つてゐないことと敎育會が存在すること、夫に諒すべき事由があつてのことではあらう然し我々日本人こそ之を諒とすれ伯國の法律は事情を酌量して日本人に限り十才以下の小兒にも日本語敎授を許可することはあり得ない。當該官憲の默認があるとして默認は所詮默認である。決して兒童敎育の樣な長い期間に效果を擧ぐべき事業を之に倚賴すべきでない。

モロンビー見た儘

不三

自分は電車にゆられながら三十數家族を數ふる郊外の邦人發展地の一であるモロンビーの土地と、そこに住んで居る人々の狀態など靜かに想像して居る中私の体は何時の間にかブルックリンパウリスタの停留所に着いてゐた、道不案內の自分は出會ひ頭に一外人を捉へ方向と里程とを尋ねて見たそして案外に近く割合に道のよいのに一寸安堵の胸をなで下した。停留所より行く事一キロ半許りでリオピネイロに出る。數週間來の大水が未だ引かず濁水は可なり速く流れてゐるのを見受けた。

こんな要所に如何して橋が無いのかしらと私はいぶかりながら四百レース出して船で向ふ迄渡して貰つた。

川岸から三百米突許り行つた所で私はがつしりした、平家建の建物に出會ふた、そこは靜かな郊外そこに住みそこに育つて行く人々にとつての文化の源泉となるべき小學校である。

私はそこで此の土地の事情を尋ねる可く小學校敎員早川氏を訪ねた氏を通じて學校設立の由來と、それにちなむ現學務委員長宮田勝衛氏の涙ぐましい美擧を聞かされたそれは數年前氏は早くも兒童敎育の必要を認め同志を勸誘し邦人小學校設立の急なるを力說した、其の案は忽ち村民に甚大の喜びを與へ衆議一決學校建築の段取迄進んだ。

けれど入植未だ日の淺い村民は經濟的に餘り惠まれて居なかつた、結局こゝ迄進んだ議決も思はしく具体化せず兩三年はそのまゝ過ぎて行つた。

ここで健氣な宮田氏は万難を排して我等が第二世の爲に文化の泉を造つてやらなければならいと決意しそれを說へて廻つた結果十三コントス位で出來るならばと云ふとこに漕ぎつけた、いくら物の安かつた當時でもそれ位の額では至難の業だつた。

此の時決然起つた氏は何物かを覺悟するものゝ如く十三コントス以上費用の入る時は自分で負擔すべき旨を申出で、切に其の建設の急務なるを力說した、村人は此の美しい而も涙ぐましい迄の義氣に感じた。

雜草に蓋はる自分の畑に意とせず數ケ月間氏は之が建築に余念がなかつた結果日ならずして落成した現校舍は今早川氏敎導の下に四十名の兒童を收容し業にいそしみつゝある。

宮田氏は鹿兒島縣河那邊郡の人モロンビー入植以來十一年、辛苦の末現在二アルケールスの土地を所有して年千俵に近い芋を聖市場に出してる成功者の一人だ。

私はそれから早川氏の案內で和かな午后の日をあびながら當地一の成功者と目さるる日本人會長籠原藤助氏を訪れた、氏は實直な農人らしい氣風と頑丈な体軀の持主だつた、わたくしの問に對し謙遜な態度で語る、

末だ人の捨ててかえりみなかつた此の土地へ足を入れたのは丁度十三年前でした。

初めは養豚のつもりで入つたのでしたが、何しろうまく行かず作つたものは値が安く買ふものは馬鹿に高く一時はフバで命をつなぎました。それが苦しいながらもあれかこれやとやつてる中芋が當り値も次第に出て來て丁度八年前にアルケル三コントスで買ふた土地が丁度九アルケールス半、聖市の擴張と共に郊外近くの爲に地價は上り今ぢやアルケル三十コントス位はするでせう、お蔭で芋も年一回作りですが二千俵位は市場へ出せる樣になりました、主作はまあ芋ですが何でも作ります、御存じの通り毎年水が出ますので低い所はまあ稻と云ふ風に割合に水害の少いものに選んで殖えますので皆樣の思ふた程水害はありません。

云はれて目を轉ずれば三十コントスを費して建てたと云ふ廣壯な邸宅の前一面は眞靑な稻田で折柄の風のまに〳〵波うつて居る、わたくしは故國へ歸つた樣な氣持でうつとりと魅せられて了ふた。

氏の話ではモロンビー一帶は主に鹿兒島縣人で耕作面積は割合に少いが生產量は面積に比し多大である、尙土地所有者數名あり、總面積二十四アルケールスを趣へ而も皆腰落付けて堅實な步みを續けて居ると郊外近く地の利を得た邦人植民地として今後益々發展されん事を祈りながら筆を置く。

野菜作り募集

サンベルナルド驛附近に一万三千平方米のシャカラ作成人好條件の下に募集す住宅あり

希望者は左記へ御來談あり渡し

Rua da Quitanda, 9-2a

Pharmacia Tabatinguera

Rua Tabatingueira, 2 - Tel: 2-5315

內外 藥品一切

調劑正確、迅速 安價、凡ての御用命に應ず

日本字の處方にても受付申すべく候又郵送も致すべく候

タバチンゲイラ藥店

調劑主任藥劑士 宜保寬良

カマラダ募集

夫婦者獨身者を問はず年給若しくは月給にて至急數名雇入たし

一、給料年額 夫婦者 一コント五百以上

一、仝 獨身者 一コント以上

詳細は手紙亦は面談の事聖市附近は聖州義塾內牛田知雄宛に相談被下度

ソロカバナ線ジョゼイテオドロ驛 幸運植民地第五區

牛田己子次

S/A COMPANHIA — DE — PRODUCTOS NIPPO BRASILEIROS

日伯物產株式會社

聖市ピネイロス、コンメルシオ街二 電話 四ー二二七九番

Adubos Fortuna

RUA BOA VISTA NO. 23

Caixa, 1002 - S. Paulo

化學肥料販賣

硫酸アンモニヤ、智利硝石過燐酸石灰、硫酸加里、石灰窒素、骨 粉、硫 黃、殺菌劑、調合肥料、(バタ、野菜其他)地質試驗、フォルミシーダ、ベンゾクレオル類、フォルツーナ肥料製造

委托販賣業 若月 操

倉庫 ピネイロ、メルカード際

自宅 ピネイロ、ペドローソ・デ・モラエス 三七

Escriptorio "Nippo-Brasileiro"

Av. São João, 85-A 1° andar, sala 12

Caixa Postal, 3730 - Telp. 4-7150 - S. Paulo

營業課目

農產物購入及委托販賣 各種肥料

種子類一切 農具一般 新古サッコ

帳簿整理 諸願書手續 飜譯和葡

諸爭議解決 契約登記立會 地權調查

土地家屋周旋 保險手續 職業紹介其他

奉仕商會

公認コンタドール 主任 座喜味盛德

主任 厚味直治

支配人 座喜味盛章

Stewart

スチュワート カミニオン

貳拾五年間の永い經驗と研究から生れたのが此の貨物自動車です

私の買ひたいのは少なくも五年以上保つのでなけりやと仰しやる方には本車でなければなりません

總代理店 ジエー・コルビシエール株式會社

G. CORBISIER & C. LTDA.

RUA B. DE ITAPETININGA, 67

PHONE: 4—6872

優良日本種子新着

在庫品殆ど賣切の處へ今度の船で新しい種子物が豊富に着きました。良く芽へ品種の優良なる點は常に御客樣より高評を以て迎へられて居ます

聖護院大根、時無大根、宮重大根、練馬大根、櫻島大根、方領大根、白長二十日大根、大王蕪、聖護院蕪、天王寺蕪、時無小蕪、大王白菜、朝鮮白菜、山東白菜、縮緬白菜、千筋白菜、均子菜、新菊菜、三ツ葉、菜大葉高菜、白莖体菜、東京太葱、瀧川午蒡金時人參、甘味瓜、大白瓜、大長ナス、青長胡瓜、節成胡瓜、フダン草

◎共の他伯國種子物各種取揃

增量 定價小袋十袋に付五舒レース送料共 多量御入用の節は衡り賣も致します

輸入元 中矢商店

聖市 コンデ・デ・サルゼーダス 郵函一一九九五

大阪商船會社指定乘船切符取次所

旅館 潮

前田吉太郎

干魚 鹽辛 けずり節

三共商會

サントス市ランデエル ペスターナ四八

電話……一九二四 郵函……三二八

TERRA NA ALTA SOROCABANA

Propriedade do Sur. José de Azevedo Oliveira

ARVARES MACHADO - L. SOROCABANA

優秀なる珈琲地帶

ソロカバナ線アルヴァレス・マツシヤード驛近接既成日本人大植民地に接續せる高燥豊沃なる珈琲地帶を特に一千アルケーレスを限り分譲す

今や珈琲樹數百万本を算する當邦人植民地は當地一帶の其絶好なる珈琲地帶たる事を實證す

一、距離 アルバレス・マシヤド驛基點六キロ米突より十四キロ米突の間

二、地價 一アルケールに付六百舒より八百舒迄

三、支拂方法 三期分納、第一期支拂と同時に賣買契約書を交附、第二期及び第三期は貳ケ年間に完了(但し無利子)三期全納濟みの上直ちに地券交附、現金にて御購入の方には特別割引あり

四、地權 絶對確實、諸書類はプレシデンテプルデンテ市第一公證役場にて閲覽されたし

五、分割地區 拾アルケーレス以上

◎御視察者に對して諸便宜を取計ふ

代理人 木村孝太郎

水戸黄門 全國漫遊記

（二七）　渡邊迷波

光『ナニ、代官所の家來ハ、ア、虎の威を藉る狐武士ぢやな』

船『若し滅多なことを云つて聞こえると大變ですよ』

光『ハ、……聞へたところで怒るまでの事ぢや、マア仕方がない船を返しなさい……』

船『御隱居、えん宣でもねえ、船を返せなんて……不吉なことといつちやいけません、戻すといつておくんない』

光『なるほど、これは私が惡かつた、ぢやア戻しておくれ……私は急がぬ路ぢやからよいが、隨分迷惑する人があるだろう』

△『へエ御隱居、私は川崎から母が急病で今にも呼吸を引取るからと云つて來たんです、狹い渡場だからよいようなもの、迷惑しますよ……』

光『さうであらう、武士は農工商の上に立つものだが、田舍には得てしてこういふ不心得の武士があつて困ります』云つてゐる間に船は再び元の渡場へ戻つて來た。

ピシノール軟膏

武『ヤア、退け〳〵百姓町人共、狹いぞッ……』二人の武士は怒鳴りながら飛び乘つて中央へドッカと腰掛け、ジロ〳〵睨め廻してゐる、丁度相手に光國公が屈んでゐる。

甲『コリヤ、老爺少し除れッ』

光『ハイ〳〵、これでよろしうございますか』

甲『ウム、それでよい、ヤイ左の奴、貴樣も除れッ……』左に立つてゐたのが格之丞だ、何を吐かすかと云つた風に知らぬ顏をしてゐる。

侍『ヤイ、貴樣聾かッ』

格『聾ではないが、不作法の武士には口を利くのもいやだ』

武『ナニッ、土百姓の分際で生意氣なことを吐す、不作法とは何んだ、奴ッ……』

格『喧ましい、こゝは船中だから文句があれば向ふ岸へ渡つていへ、乘合客が迷惑する』

武『此奴イョ〳〵以て怪しからぬ奴だ、武士に向つて無禮千萬、たたき切るゾッ』

助『アッハ……百姓でもさうムザムザ切られてはたまらん、栗や大根ではあるまいし……』嘲弄せられし二人の武士はイョ〳〵腹を立て、

▲『ウムッ、勘辯ならん……、この野郎……』立ち上つて打ちかかる奴を引き外したから、自分の力で川中へドブーン、

武『オヤッ、貴樣太い事をしやがる』殘りの一人が打つてかかるを後より佐々木助三郎、猿臂を延ばして首筋つかみ、エイと叫ぶと、同じく川中へドブンと落ちた、乘合客はドット鬨の聲を上げる、船頭はなんなく向ふ岸へ着く、船頭は大心配、

母國の新聞雜誌書籍は　東洋書房へ　Caixa, 3962 - S. Paulo

船『もしお客さん彼んな事をして貰つちや私が後で迷惑しますよ』

光『ハッハ……あの二人は少々逆上てるやうだから水で頭でも洗つたらよいだらう、助さん格さん、アブ〳〵こつてるよ』

船『ソ、そんなことを仰しやつて代官所からどんなおとがめがあるか分りません……』

光『ナニ、心配することはない、私が迷惑にならぬやうにしてあげる、オヤッここに泣いて居る三人の婦人はどうしたのじや』

船『へエ、今朝からここに來て居るのですが、渡賃がないから渡さないのです』

光『ナニ、三もんぐらゐを持たん……ハ、アよく〳〵貧しいものと見える、しかし船頭さんあの武士等はいつも渡るだらうが、船賃を出しますか』

船『どうして船賃なんか催促しようものならそれこそ無禮打ちにしられます』

聖市セ子イロス　フエルノ　デアス一〇七　村田寫眞館

光『スルトこの六鄕の渡は武士は無賃かな』

船『へ、エさうぢやありません、此處のお代官樣の御家來衆や下役のお方は乘捨て御免なんです』

光『フ、ム、勝手に金をださないのぢやな』

船『へエ、さうですよ』

光『さういふ不公平なことをしてはいかん、眞逆代官所の下役に三文の金がないことはあるまい、それを乘せて錢を能うとらないでこんな貧しいものは錢がないから乘せないとは餘り不人情で、規則といふものは杓子定規にやられてはたまつたものぢやない、五人や六人無賃乘せたところで少ともお前の損にはなりますまい、乘せてやりなさい……』

船『いけません、五人六人と云つてゐると、人間は慾の固まりだから、三文でもださない奴が幾等も出てくるんだ、お前さんも餘計なことはいはないでトットと行つたらよいぢやないか』

光『イ、ヤ私は年寄の冷水で餘計なことが云ひたい病があるのぢや助さん、格さん、彼の二人が岸へ泳ぎついたさうぢや、逃がさないやうによいかい……、船頭お前にも後でいひ分がある、これお女中お前等は三文位が出せないのか』

女『ハイ、御隱居樣、妾らは貧しいくらしをして居りますので、今持ち合せがござりませんので……今一人の佐助さんといふ船頭さんはヨク親切に自腹をきつて渡してくれますのに、この甚兵衞さんはどうしても渡さないので困りますそれゆえ最う少しで佐助さんと代るのを待つて居ります』

ELIXIR NOGUEIRA　梅毒妙藥　◎萬國藥店に有り

光『フン、さうか世の中には重忠のような仁者もあれば、岩永のやうな意地惡もあるジャア私が三人に少々金をあげるから渡るがよいコレ助さん……オ、早二人を提て來たか、荒れた頭をらパン〳〵はつておやり序にこの女中に金子一兩づつ惠んでやつてをくれ』、助三郎は三人に一兩宛與へる三人は淚を流し厚く禮を述べて船に乘つて向ふへ渡る。

光『さあ、助さん格さんボツ〳〵出掛けやう、オ、丁度宜い船頭が代つたコレ甚兵衞とやら、お前も一諸に來ておくれ』

船『大きにマア斷りませう、私はこれより歸つてかゝと一杯遣るのが樂みで……』

光『イエ、代官所へ案内してもらひたいので……』

船『エッ代官所へ……御隱居お前等はどうかしてゐるのだな、そのお武士を連て代官所なんかへ行つたらそれこそ飛で火に入夏の虫、幾等この人等が强くつても駄目だよ、惡ひことは云はねえ、殿が宣しいぜ』

光『それぢやお前、どうしても行かないのだな』

船『知れたことよ、掛り合ひになつちやつまらねえや』

光『格さん、その船頭を提ておいで』

格之丞は右手を延して甚兵衞の腕首むずとつかんだ

甚『エ、イ、なにをしやがる』

振り切らうとする奴を

助『エイッ……』叫と等しく大地へたゝきつけ、足でウンと踏みつけ

助『サア何うだ御隱居の言葉に從がつて、溫順に案內するか』

甚『ア、痛い〳〵許してくれ案內する……』大男の船頭甚兵衞青くなつてゐる、なんしろ渡場の出來事だから往來の者は一人立ち二人立ち、黒山のごとく見物してゐる

■『どうだ、武平アノ御隱居は尋常の人ぢやねえぜ、百姓風体ではあるが、なんだか人品があるよ』

●『ウン、さうだ〳〵、二人の男もみろ、目付が一くせあつて妙な百姓姿だが、面ズレといふ奴があるぜ』

▲『なるほど違ひねえ、どこかの御殿樣がお微行で歩いてござるのかも知れない、しかしいゝ氣味だアノ代官所の家來はヨク下々のものを苛めて仕樣がねえんだ』とロゝに話てゐる折柄向ふより砂煙蹴立て望月剛太夫下役二三十名注進によつてドッとこの場へ乘こんで來た。

光『イヨ……、來た來た、助さん格さん大分面白くなつたよ、丁度幸ひぢや、一つ荒れて置いて代官所へ乘り込まうぢやないか』

助『ソレがよろしうございます』助三郎と格之丞は提た二人の家來をウンと、當殺してそれへ放出しサアこいと待構へてゐるところへ

代『ヤア〳〵、狼籍者はどこにゐる代官望月剛太夫これにあり尋常に繩にかゝれッ』

光『イョ……、强さうに云つてゐる、狼籍者はこゝぢあ〳〵、早く召捕つてくれ、待つてゐたのぢや』

代『無禮者奴ッ土百姓の分際で我が家來に手向するとは怪からん奴ソレッ召捕れいッ……』下知に應じて下役の面々四方より打てかゝる、格之丞と助三郎はつかんで投げる取つて放る光國公を中に圍んで無二無三に暴れ廻る望月剛太夫大ひに怒り、

望『エッこの上は斬捨ていッ』號令掛けるとスラリ〳〵と得物を引き抜斬つてかゝる。

お手輕御料理　みくに食堂　コンデ坂上卅一

安い店は　日の出　は安い店　内外雜貨物及農産穀物仲買　ラルゴ・ド・メルカード　阿久根國雄

旅館ご運送業　北パラナ、カンバラ町　白岩甚造　岡野爲松　Caixa, 158 Cambará L. S. Paulo - Paraná

御洋服の洗濯は凡て旭へ御用命下さい　◎最も丁寧廉價迅速　旭洋服洗濯所　コンデ・ピニヤール二一　電話　二一四一〇二

水力電氣計畫工事。土木、測量製圖、農村電化、自動揚水。公認技師　小林弘一郎　聖市サンタ・テレーザ街二番（ラルゴ・ダ・セ）二階百九号室　Rua Santa Thereza 2 Sob. Sala 190

DR. T. WATANABE　Rua Bras Cubas, 125　Tel. 1757-SanTos　醫學士　渡邊勣　サントス市　電話一五七五

◎新刊書籍到着　主に全集物にて單行本なれば二十乃至三十ミルのものも僅かに送料共十ミルにて讀み得る事になりました、圖書目錄は直ぐ送ります　遠藤商店（T. YENDO）Caixa, 2878 - S. Paulo

現像、燒付、引のばし肖像寫眞等迅速叮寧　東洋寫眞館　コンデ街一三番　遠近を問はず出張撮影のお求めにも應じます

Terreno NO JARDIM JAPÃO　ルア、ヤマトに在る二地區を安價に提供致します希望の方は左記へ　Panelli, Rua do Carmo, No. 7　Officinade Folha da Noite

菓子　坊迫菓子店　聖市　コンセレイロ　フルタード五番

御婦人方は無手術で立派に若返られます　何故なら露國の醫學大家ボロノフ博士が有名な婦人藥を造つた樣に當國産科婦人科界の權威 Silvino Pacheco de Araujo 博士も亦驚く可き新藥 FLUXO SEDATINA を創製されたからであります　本劑は御婦人を若返らしめる計りでなく月經不順は僅か二時間の中に奇せき的な好調節を爲し内臓諸機關の活動を活潑にし又規則正しくし、お産を容易ならしめ分娩時の危險を防ぐ等の特効が有りますので諸醫療家並に助産婦の方々から婦人身体調整に特効藥として奬稱され又主なる病院並リオ、聖市のマテルニダーデ、カザーデサウデ等御用命を蒙つて居ります　全國到る處の藥店に有り　一人一問を限り質問に應ず　Caixa Posta, 2-C São Paulo

◎ソロカバナ線巡演　人情講談浪花ぶし　四代目　盛川桂春

Fernando Hakradt Cia.　Rua de S. Bento, 33, 2 and. sa'a 7　CAIXA, 948 - S. PAULO　肥料　作物に肥料は一番大切です、弊店の肥料は獨逸式で芋、綿、野菜、珈琲、ミリョ等夫々別の肥料を差上げます、品物は極上有効、日本人諸君には特に御便利を計ります　フエルナンド、ハックラト商會　聖市アルベンサントン三十三番三階七號室　一郵函九四八

COLLEGIO CATHOLICO JAPONEZ　SÃO FRANCISCO XAVIER　Rua da Liberdade, 148 - S. Paulo　社團法人　聖フランシスコ學園　邦人子弟の理想的敎育機關　寄宿舍、通學、夜學校　◎男子部　一寄宿料　月謝共一百缸、倚寢具は一切當園より支給す　一特長　兒童の情操敎育、上級學校への準備に最も意を注ぐ　一入園資格　滿八歲以上　◎女子部　一場所　伯人經營の一學校内　一學科　裁縫を主とし一日二時間葡語の勉强　一費用　男子部と同じ　詳細は左記へ　聖市リベルダーデ街一四九　主任　靑木新刀

各地巡業　なにはぶし　伯洲雲春（桃中軒雲春）　何卒御引立の程幾重にもお願ひ奉ります

Fabrica de Camisas NEW YORK Praça da Sé,84　まあ!! 何んて安いんでせう　『こんな善い生地を使つて如何してこんなに安く賣れるのかしら』とは私共の陳列窓を御覽になつた方々の疑問です　カーザ ニューヨーク　は自家の工場を持つて居ります、その製品を直接店へ出すので勢ひ他より安くなり又種々のものを取揃へておく事が出來るのです　トルコリーナ・カミーザ十缸以上　靴下一缸から種々、襟飾各種取揃へてありますから是非一度陳列窓を御覽下さい

OSWALDO CONCEIÇÃO & CIA.　Rua Amador Bueno, 104 - SANTOS　CHEVROLET　シブロレーとは新時代の要求に應ずる最も完備した自動車の代名詞です　上記サントス代理店は新古何れのカミニヨン或はアウトを安價にて提供致します　月賦拂の方法もあります

Confeitaria da Sé e Bar DE J. SIMÕES　◎上等ビスコイト各種　◎米國式軍用ビスコイト　◎特製ベネザ式パン　◎洋酒各種　◎新鮮マンテーガ　其他バチザ、婚禮用御菓子何によらず御注文に應じます　御一報次第地方へも御送します　Praça da Sé, 91 - Esq. Rua Irmã Simpliciana　Antiga do Theatro - Tel. 2-6336　SÃO PAULO

切れ味は正宗の劍に勝る　本正弘　日本製稻苅鎌　片刄　七寸、七寸五分、八寸　瀨木商店　Y. SEGUI　Rua Conselheiro Furtado, 12　CAIXA, 1771 S. PAULO　支店　バウルー、グアイサラ、ペンナ

各地水害頻々

引續き降つてる雨はまだ一寸止みそうにもないが各地の水害は非常に大きく汽車不通はソロカバナ線サンパウロサントス間を始めとしモヂアナ線も故障を生じて正規の時間には發着せず珈琲園の荒らされるもの數限りなく中にはパストなど全然土砂で埋められた所などもあり、その爲めおく地では食糧品の大欠乏を來たし北パラナ州コンゴニヤ地方ではカマラーダは全部カムバラ地方へ逃出して來たフエジョン一俵百五十ミルもしてをる由なるが百五十でも二百でも肝心の汽車が通せず馬車自動車が水のため通らぬので何ともすることが出來す耕地によりては食糧攻めにあつてる所もありと、レヂストロ植民地もリベイラ河の増水で海興事務所アルマゼンなど浸水カノアで往來してをる由

サントス 聖市間汽車不通

十三日以來アルトダセーラ、ピアサゲーラ間に山崩れあり汽車不通となる鐵道會社の發表する所によれば破損程度は非常に大きいため何時復舊するか判らずとのことである幸ひに電話線に故障なきため聖市から通話は出來るが、通勤者に取つては大痛事で雨のため自動車道は大破損を來たし命がけでなければ通れない狀態であると、ことにクバトンの貯水場あたりからサンベルナルドにかけての道は自動車が腰までつかる深さで自動車は自力で通れぬところからツルマを雇ひ一臺始めは八十ミルで押渡すと云ふ有樣であつた、何樣汽車不通ときいてあわて駈出した自動車が百五六十臺もあり之れが押渡しの人足ども時ならぬ大金を儲けたとはウソのやうな本當の話である

カンピナスの假裝會

日本人大持て

カンピナス市テニス倶樂部では去九日夜假裝會をかねたダンスを催しサンパウロ日本人倶樂部へも案內狀が來たところから領事館並に海外移住組合などの若い人達打揃ふて出席したる外地元の東山農事會社からは社員全部羽織袴の若旦那風に仕立て婦人連も……と云ふところで押出し一同ヤンヤの喝采を博した上聖市から出向いたソルテイロ連は土地の娘さん達に大持ての結果朝の三時頃まで踊りぬいたと

コントデビガリオ

旅館末廣の泊客かゝる

去九日カルナバルの前日で世間は何となくざはついてる時ドラデンセ線イビチンガの早井田金吾といふ男聖市へ來てキヨロ〳〵して居たところ良い掠鳥でも居らぬかと探して居た例のコンテデビガリオ師の一人がルアコンデの角で金吾に話しかけサンタカザへ納める金を持つてるのだが何所か判らぬからお前預つて居てくれ、序にお前の金も一所にここへ入れてをけと新聞紙の包を出した、金吾は少しも疑はず云はれる儘に自分の財布を出し、その男に包の中へ入させて宿へ歸つてみるとアラ不思議たしかに入れた筈の財布は失くなつて古新聞ばかり、まんまと八百ミルほどしてやられ、宿でその話をすると始めてコントデビガリオにかかつたと合點が行つた由、かける方も悲いがかかる方もボンヤリ田舍から出聖する人は御用心〳〵

カルナバルの跡

雨にさいなまれて出はぐれた各團体の山車は市役所と警察へ交渉し來十七日更らに出直しをやることになり其筋でも氣をきかして許可した、それで同日雨さへ降らねばモウ一度カルナバルがある筈であるが氏神祭禮のやり直しもない如く氣乘りのせぬこと夥し但し同日は日曜だから天氣さへよければ山車は出せるが此空模樣では何とも知れず團体の肝煮連このところ頭痛鉢卷

黄熱病の系統わかる

先週所報の黄熱病患者はリオの灣內イリヤゴベルナドールに住んで居た者であること判明した、當局では嚴重隔離した上患者と同行して來たイムレケオンカなる女をも健康診斷をやつたところ何等異常を認めなんだが去三日以來發熱しはじめ十二日遂に死亡した撿鏡の結果まがう方なき黄熱病であることが確められた右の如く病源は何れもリオより移入したもので聖市その他インテリオルで持發したものでなく安心してよいとのことであるが只不可解なのは衛生當局が殊更に之を隱したことであるが多分死亡後發見のため世間に知れ渡らぬ內埋み消すつもりで居たのであらうと

チブス赤痢流行

長雨のためだけではなく去年から聖市にはチブス赤痢アミーバなど流行し洪水後は尚更いろ〳〵の病氣が盛んだらふとのことである、州衛生局でも水害後の衛生狀態については一方ならず心を痛めてる由

內務省官吏 マゴ付く

內務省復興局技師武部六藏氏は歐米漫遊の途次去月十五日來聖移住組合のシヤモ事牧義朝を案內にして、おく地を視察中のところ土地不案內の上に土地不案內のガイドを連れ歩いた爲め、おく地ですつかり日程を狂はし去十二日漸くのことで聖市に還出した、おかげでベノス行の日程も棒にふり十五日あわてゝリオ行その儘歐洲向け出發したとシヤモのやうな何も判らぬボヤデイロをつれると大抵こんな目にあふ

また醫者の留學生

日本政府では先に醫者の留學生で散々手を燒いて居るに拘らず今度マニラ丸で內田利藤次と云ふ醫者の留學生を派遣し次のモンテビデオ丸で一人また其次の船で一人都合三人の留學生を派遣することになつた由、これも亦免狀を取らせるまでには七八万圓かゝるだらふとその邊の評判

マニラ丸入港

十一日サントス入港の大阪商船マニラ丸は新來同胞八百四名並に自由移民三十餘名を載せて來たが航海中死亡六名サントス着後流産した赤ンボを加へて總計七名の死亡者を出した、尚サントス着後契約移民は全部サンパウロ收容所に入つたが呼寄で來た自由移民三十餘名はサントスで上げられたのみならず同地に於て荷物撿査を行られた爲め出迎人なども面喰つてしまい非常に手ちがひを生じたと、外國移民で珈琲園に行かぬ者には此種の差別撿査を行つたものであるが日本移民の場合としては近頃珍らしき待遇であつて伯國移民官憲も何等か感ずる所あつたものと想像されるが今後或は移民の荷物その他の撿査が嚴重になるのでないかと心配する向きもありて因に移民は十五日未明それぞれ配耕された

川西領事着任

かねてサンパウロ勤務を命ぜられて居た領事川西豊藏氏は家族同伴去十一日商船マニラ丸でサントス着出迎への齋藤武雄書記生と共に十二上聖、一先づ借家に落付いたが病氣荷物不着等のため今週中は出仕にいらず

梅谷光貞氏出發

移住組合への入電によれば理事梅谷光貞氏は去十二日東京發西比利亞經由で三月廿三四日頃再び當地に來る由、但し永くは居るまいと

投書募集

今月の本紙から『憤火』を設け一般讀者の社會的批評と不平不滿と最も困つた事とケシカラヌ奴などの投稿を載せ、入選者には薄謝を呈します

投稿規定

十五字詰六十行以內、匿名は差支へないが必ず本名を通知すること

投稿宛名は必ず『憤火』係りと書くこと

日伯社

龍江海興重役

總會後來伯か

某方面への內報によれば三月中には來るだらふとのことであるが、當地海興支店では五月總會がすまねば來まいと打消してをる、何れにしても本年中頃までに來ることは確らしい

病人一束

▲海興支店の白鳥堯助氏は先週胃出血、腦貧血などを併發して引籠靜養中▲領事館員堀江博氏は久しき前から氣管支を病み去九日中央線へ轉地▲瀧澤二三郎氏は肺を病んで郊外ボスケサウデに療養中

物價（サンパウロ市場）

米アグリヤ	上（六〇）	八四、〇〇〇
同	並等	七六、〇〇〇
同	カテ、上等	四二、〇〇〇
豆ムラチニヨ	極上	九〇、〇〇〇
同	並等	八六、〇〇〇
ミリヨ	黄	二四、〇〇〇
マンヂオカ	上（五〇）	二三、〇〇〇
仝	並	一六、〇〇〇
珈琲		三三、五〇〇
棉インラマ	（十キロ）	五九、〇〇〇
バナ、ナニカ	（キロ）	〇、四〇〇
同	マンサン	〇、七〇〇
豚脂	（六〇キロ）	一六二、〇〇〇
肉（キロ）	牛	一、二五〇
	豚	二、八〇〇

為替　邦貨一圓に付　三、八八〇

○日本行郵便締切　二月十六日　仝月廿六日

汽車時間表

▲リオ行　午前七時　仝八時　午後七時　仝八時　仝九時　仝十時

▲黒河行　午前五時　仝七時　仝七時半　午後〇時半　仝八時

▲サントス行　午前五時半　仝六時　仝七時　仝八時　仝十時　仝十二時　午後二時半　仝五時　仝六時　仝八時

▲バウル行（ソロカバアナ）午前五時半　午後八時半（パアウリスタ）午前八時　仝十時廿分　午後五時半

入用

十五六歳位の少年二名募集す希望の方は申込あれ勉學の餘暇充分あり

日伯社

尋人

KUDO TSUGIO（クドウツギヲ）

右の者に對し

KUDO KORESHIGE（クドウコレシゲ）

なる者より當館氣付來電あり現住所至急御通知ありたし

昭和四年二月

在サンパウロ

帝國總領事館

CASA VIGNOLI

Rua Direita No. 13-D S. Paulo

寫眞機　眼鏡

視力試驗 修繕一切 双眼鏡 カミソリ 測量器具 フイルム 乾板 現像 燒付 其他一切 特に御申込方の御注文は迅速に應ず

息次郎儀病氣中の處藥石其効無く去る九日午後十時死去致し十一日アラッサ墓地に埋葬仕候條生前辱知諸賢に謹告仕候

昭和四年二月十一日

父　中山作一郎

母　カミ

房雄

道江

親戚　中村市司

シカ

友人　森山彌曾次

木田良藏

成田修太郎

作野秀延

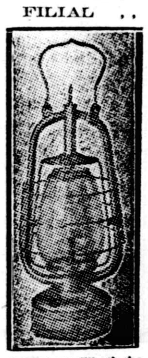
小幡延吉

店員職人一同

CASA GONÇALVES

RUA GENERAL CARNEIRO, 53-55

FILIAL ,, ,, 35



五十釺レース　マントル二釺五百

鎭鑄製　ニッケル製　マントル　一〇〇釺　一一〇釺　三釺

手紙一本

書くにしても新聞一枚讀むにしても弱いカンテラの光ではどんなに御不自由だつたでせう今すぐ當店賣出しの輕便經濟强光力無壓力式

ガゾリン・ランプをお買ひなさい、ガソリン消費量は毎日六時から十時半まで灯したとて單燭光なら月二釺百二十燭光なら月四釺で盲の樣な生活から樂しい夜がおくれます

風雨の夜の携帶用として絕對品

M. HARADA

ENGENHEIRO

建築設計　製圖　土地測量　道路設計等の請負監督の御用命に應じます

公認技師　原田政平

R. Barão de Paranapiacava, 1-9 and. 4e5

Tel. 2-3364 São Paulo

PHARMACIA IRIS

Rua Irmã Simpliciona, 16

(Antiga Rua do Theatro)

TETEPHONE 2-4092

內外藥品一切　調劑正確　藥品精選

日本人諸君には特に迅速叮寧廉價を以て御用命に應ず至急の御方は夜中でも構ひません

ファルマシヤ　イリス

（プラッサ・ジヨンメンデスよりコンデへの通路角）

Armazem de Seccos e Molhados

開店御披露

私儀今般左記の所で日用雜貨品の店を開きました、出來るだけ安く品物を吟味して勉强致します、大方諸彥の御引立の程伏して御願致します

小川秋人

Rua Commercio N. 9 Pinheiros

△旅行用品一切　△カバン用覆　△手提カバン　其他修繕△安價にして迅速

CASA PAYSANDÚ

Rua Quintino Bocayuva, 29-A

São Paulo

ゑびす商店

雜貨販賣　運送業　農産物仲買

北西線リンス驛　峰松春二　郵函一九二

女中入用

伯人良家庭、女中二名至急雇ひたし

（コジネーラ一名及び十二三位の小間使親子なれば好都合）

希望者は左記へ

Rua Paraizo, 127

Dr. A. SAITO

MEDICO

Rua da Inconfidencia, 6-35

醫學士　齋藤等

バウル市　電話二六九

海外興業株式會社

伯國支店

Caixa Postal, 3015 — Telephone. 7-0651

Rua Tamandaré, 127 - S. PAULO

黒河出張所

Caixa Postal 290 — Telephone, 534

Rua Florencio de Abreu, 73

RIBEIRÃO PRETO

南聖倉庫

ARMAZENS GERAES SUL SÃO PAULO

Rua Barão de Paranapiacaba No. 135-139

Caixa Postal, 853 — SANTOS

CHEVROLET

新古カミヨン

並に乘用自動車の御入用の節は是非下記まで御申越下さい。自動車に充分の經驗と智識を持つ小生ぎ責任を以て御希望に添ふ車を他より安價に御世話致します、尚各種附屬品も販賣致します、新貨物自動車御購入の方には長期月賦の便を取計ひます

トビアス・デ・バーロス會社

代理人　林岩松

Rua São João 140 Tel. 4-0015

Rua Arco Verde 360 - Pinheiro

S. PAULO

ESCRIPTORIO TECHNICO - AGRICOLA

LUIJI MELAI

Rua Florencio de Abreu. 3 - SãoPaulo

Caixa Postal, 2933

逸するなかれ　絕好の機會

豐作の喜を持つものは唯殺菌劑ポー・カフアロの使用者のみ

本劑はホルド液より經濟的且つ殺菌附着力强大にして石灰との混合や薬を燒く心配なく、使用簡單効力絕大なるを以て苧作者間に顯著な所以です

定評ある弊店のセボーラ種子

カナリヤ種　リオ・グランデ種

新鮮發芽保證付の種子

野菜、草花、牧草、果樹類

躊躇せず直に御一報あれ　カタログ速時進呈す

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil

ASSIGNATURAS:
Para o Brasil:
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Para o Exterior:
Por anno ..... 60$000

NIPPAK SHIMBUN

Redacção e Officinas: Rua da Liberdade, 146 - End. Teleg. "NIPPAK" - Caixa Postal, 375 - Teleph. 2-6183

ASSUMPTOS DE HOJE:
Notas e Informações — Noticias do Japão — Movimento Diplomatico — Um orgam informativo (suelto) — Chronicas Mundanas — Ultimas noticias do Japão — Pelo Litoral — Folhetim de "Nippak"

Director: SACK MIURA | Anno XV | São Paulo — Sexta-Feira, 15 de Fevereiro de 1929 | No. 615 | Redactor: JORGE T. MIDORIKAWA

Notas e Informações

Por motivo do descanço na re-icção e nas officinas durante os as carnavalescos, o numero re-rente a esta semana desta folha rcula com um dia de atraso.

Esta irregularidade, entretanto, rá sanada desde a semana vin-bura.

Durante o corrente mez, paga-, na rua Brigadeiro Tobias, 18, imposto de aferição de pesos e edidas relativo ao exercicio cor-ente.

O povo é deveras curioso. Pode scapar onde queira, mas a curio-idade popular não vae nessa on-a de indifferentismo.

O Tio Sam, no seu mais eleva-lo espirito de *soridariedade* no Universo, clama a incoherencia los sul americanos em face do Pacto". Estes, por sua vez, re-clamam o excesso do armamentis-no na origem dos *patos*.

"Não se afflijam, diz um *commission merchant* das coisas in-ternacionaes, cada um firme (as-signe) o seu *pato* e, na hora da *onça beber agua* solte-o no mar..."

Quem será o primeiro dos avi-cultores a jogar o pato nas aguas? E quem irá mergulhar nas aguas em procura dos ovos? Vale a pe-na viver...

Procedente de Kobe e escalas, deu entrada no visinho porto de Santos, em 11 do corrente mez, o paquete japonez "Manila Maru", conduzindo 126 familias compostas de 804 immigrantes japonezes destinadas á lavoura do Estado. Todos estes "colonos" que se acham hospedados na Hospedaria de Immigrantes tomaram os destinos dados, hoje de madrugada.

Em virtude dos aguaceiros que occasionaram serios prejuizos na Serra de Santos, acha-se paralysado, desde 13 do corrente, o trafego pela San Paulo Railway entre esta capital e Santos.

Segundo communicação da superintendencia da S. P. R. o primeiro trem passará hoje ou amanhã, pela linha velha.

Telegramma de Nova York annuncia que o bilharista Kinrey Matsuyama foi derrotado pelo seu competidor Walker Cochran, por 400 carambolas contra 373, sendo esta a primeira que Matsuyama soffreu desde o inicio do presente torneio.

DR. S. TAKAOKA
MEDICO-OPERADOR
Rua Fagundes, 8
Tel. 2-4180 S. PAULO

Edição de 8 paginas

Dr. EMPEI KIKUCHI
MEDICO
REGISTRO — IGUAPE

O PROGRESSO DA NAVEGAÇÃO AEREA NO JAPÃO

Treze voltas pelo mundo, feitas por iniciativa particular, no anno de 1928

TOKIO, Janeiro de 1929 — A navegação aerea no anno que findou assignala uma phase mais saliente entre estes ultimos annos, em cujo periodo teve sempre seu desenvolvimento crescente.

Segundo nota official, durante 1928 registraram-se 227 aviadores particulares, que alcançaram um total de 766.800 kilometros navegados, sendo 5.688 horas o tempo dispendido.

("Nippak")

Louças, Artigos Japonezes e Nacionaes
K. NISHITANI
IMPORTADOR E EXPORTADOR
Rua Conceição, 88
End. Teleg. NISHITANI
Caixa do Correio, 1134
RIO DE JANEIRO

LONGOS annos de cautelosas observações que vimos dispensando, obrigam-nos a chegarmos á conclusão de que o nosso serviço informativo promovido pelas dependencias do nosso ministerio do Exterior que, se não são unicos, são quasi unicos orgams os consulados localizados em varios centros mais importantes da Republica Brasileira, não é sufficiente para attenuar as considerações erroneas entre os dois povos amigos, cujos laços de cordialidade poderiam ser ainda maiores, se este serviço ainda de caracter introductivo fosse executado com maior intensidade. Se bem que o nosso serviço consular no Brasil não deixa de cooperar para o "desideratum" de que aqui nos occupamos, as suas observações se deixam muito a desejar e principalmente em relação ao golpe de vista que poderia ser mais lucido sobre os verdadeiros aspectos da situação commercial do paiz.

Para agitar mais facilmente este importante problema, lembramos a organisação de um orgam "sui generis" nesta capital, com elementos exclusivamente senhores das questões economicas nippo-brasileiras, a exemplo de varias colonias extrangeiras domiciliadas no Brasil.

Sobre a adapção de seu regimen e escolha dos elementos que devem fazer parte de sua directoria, temos suggestões que manifestaremos opportunamente.

CHRONICAS MUNDANAS

Na antiga mythologia apparece uma girafa que foi victima do conto de vigario de um jumento africano. E isto desmente o conceito sobre o qual era tido até então a faculdade mental dos jumentos, provando que o burro muitas vezes possue a supremacia sobre a girafa, cuja intelligencia tornou-se conhecida como preeminente entre todos os quadrupedes. A mesma coisa acontece nas massas humanas.... Isso de um delegado de policia que foi lesado por um ladrão já é velhissimo. Hoje, esta tendencia se nota até na vida literaria. Não nos causa nenhuma extranheza se o poeta fulano foi victima do logro de uma creança; o escriptor sicrano cahiu na malha de um malandro... Mas o que eu vou dizer não é nada disto: o é entretanto tactica mercantil de certas senhoras londrinas...

*

Certo dia o humorista inglez Bernard Shaw recebeu em Lyon, onde estava fazendo uma estação de verão, uma carta de certa associação feminina da Inglaterra, solicitando ao auctor do livro "Guia do feminismo em face do socialismo e capitalismo", a offerta gratuita de um exemplar deste. A carta estava redigida com expressiva cordialidade. Muito ao contrario do que o leitor pensa, o sr. Shaw respondeu *in continenti* á signataria da proposta, declarando terminantemente que "uma associação que não tem dinheiro nem para comprar um volume que custa apenas 15 shillings não valia a pena existir. E ademais, jamais se viu lido um livro gratuito."

A associação, no entanto, nada se sentiu offendida por isto, porque o seu intuito não era senão o de conseguir umas linhas de auctographo do conhecido escriptor, cujo auctographo foi vendido a um livreiro de Londres em troca de um volume da obra shawense, o qual, por sua vez, não lutou com difficuldade alguma para passal-o ao sr. Gabriel Wells, grande colleccionador dos auctographos, por 15 libras.

E Bernard Shaw que se sentia vencedor nas suas logicas, estará rindo amarellamente...

Joe Maddi

DO JAPÃO
(Das Nossas Succursaes)

A encampação de ferrovias

TOKIO, Janeiro de 1929 — Estão terminados os estudos preliminares sobre a encampação de varias estradas de ferro particulares pelo governo do Imperio. A importancia desta acquisição está calculada em 50,000.000 yens, cujo fundo será angariado por meio de titulos de divida publica.

O relatorio da commissão encarregada deste estudo já se acha na mão do ministerio da Viação Ferrea, que apresentará nestes dias ao Congresso.

A INDUSTRIA DE PÃO NO JAPÃO

TOKIO, Janeiro de 1929 — Entre varias theses apresentadas ao congresso dos padeiros recentemente reunido nesta capital, destacamos uma que esclarece a origem da palavra "pan", com dados historicos interessantissimos. Diz: "A palavra "pan" é derivada da palavra "pão" da lingua portugueza, que entrou neste paiz no seculo XVI, com o naufragio de um vapor portuguez nas costas japonezas, cujos tripulantes foram salvos pelos pescadores nipponicos.

A industria de pão no Japão teve seu inicio em 1880, quando se fundou a padaria "Tsutamoto". O augmento consideravel de consumo data, porém, de dez annos mais ou menos."

Actualmente o Japão consume nada menos de 2,000.000 saccos de farinha de trigo na fabricação de pão.

A extincção das "gorgetas"

TOKIO, Janeiro de 1929 — O regimem de "gorgeta" contra o qual se veem verificando, desde ha muito tempo, intensas campanhas, vae desapparecendo pouco a pouco. As emprezas de "taxis" de Hakone e Odawara estabeleceram ultimamente um regulamento, prohibindo aos seus empregados, sob pena de serem postos na rua, a acceitar "gorgetas". Esta medida repercutiu em todo o paiz, sendo emitada por diversas outras emprezas.

Movimento Diplomatico

Regressou em 10 do corrente, da capital federal, onde fora cumprimentar o sr. embaixador do Imperio japonez, o sr. Seichiro Nakashima, consul geral do Japão nesta capital, acompanhado de sua esposa.

Chegou a esta capital, em 11 do corrente, o sr. Toyoso Kawanishi, consul adjunto do Japão nesta capital.

PHOTO
OTTO STUDIO
TELEPHONE, 2-5400
Rua da Liberdade' 70
SÃO PAULO

I. SHIOKAWA
UNICO IMPORTADOR DA PORCELLANA
MARCA
Noritake
SÃO PAULO
R. Brigadeiro Tobias, 96 e 96-B
TELEPHONE 4-6387
CAIXA POSTAL 1714
End. Tel. "ELNIPPON"

"O JAPÃO EM SÃO PAULO"
— FUNDADA EM 1906 —
ARTIGOS JAPONEZES EM GERAL
RUA S. BENTO, 60 — S. PAULO
Telephone: 2-2788 Caixa Postal, 344

UM INQUERITO OPPORTUNO

Augmentou consideravelmente, desde poucos annos a esta parte, o numero das companhias e emprezas japonezas que funccionam na Republica. Alguns trazem beneficios ao paiz e outros ha que nada lhe offerecerão de util.

Afim de frisar o valor do que têm feito e estão fazendo no Brasil essas "kaishas", resolvemos abrir um inquerito cujo resultado publicaremos opportunamente.

Numero avulso 500 rs.

Ultimas noticias do Japão

Foi rejeitado o voto de desconfiança

TOKIO, 11 de Fevereiro — Rasgando a velha praxe, a Dieta funccionou hontem, domingo, o que é a primeira vez na nossa historia parlamentar.

Contra 185 votos, a Dieta rejeitou a moção de desconfiança no governo do barão de Tanaka, apresentada pela opposição, obtendo a seu favor 249 votos.

Nessa votação, o partido "Shintoo Club", chefiado pelo sr. Tokonami, manifestou-se favoravel á politica do barão de Tanaka, confirmando a opinião que aqui reinava antes de sua ida á China, e cuja communicação para ahi transmitti naquelle tempo.

("Nippak")

Um succedaneo da borracha

TOKIO, 13 de Fevereiro — Telegramma de Fort Meyers communica que o industrial americano Henry Ford adquirira 2.000 geiras de terra, no Estado de Georgia, afim de aproveital-as para o cultivo de uma planta recentemente descoberta pelo inventor Edison, a qual substitue perfeitamente a borracha.

Este facto veio animar extraordinariamente o nosso meio industrial, que prevê o proximo barateamento de uma materia prima que tão largamente é empregada em suas industrias.

PELO LITORAL
(Dos Nossos Correspondentes)

Na Linha Juquiá — Ha dias está interrompido o trafego nesta ferrovia, devido á cheia no rio Juquiá e seus affluentes que cobre em varios trechos os seus trilhos.

Registro — A séde da colonia de Registro esteve dentro dagua por muitos dias, sendo grandes os prejuizos verificados. Só no sitio "Estaleiro" a Companhia Japoneza perdeu mais de 10 alqueires de banana.

MATRIZ - RIO
Rua Theophilo Ottoni, 85
CASAS NO JAPÃO
NAGOYA, KOBE E YOKOHAMA
Endereço Telegraphico: "HACHIYA"
Hachiya, Irmãos & Cia.
IMPORTADORES DE LOUÇAS, BRINQUEDOS, ARMARINHO E ARTIGOS JAPONEZES
R. Brigadeiro Tobias, 110 SÃO PAULO
TELEPH. 4-7688 CAIXA POSTAL, 2670

FOLHETIM DE "NIPPAK"

UM GENIO ERRANTE

Collaboração de Jacobi Maggiolli

Vae para um decennio que de regresso da Europa, de onde fôra chamado pelo seu pae, devido a vida bohemica em que se mettéra, trabalha Isac numa empreza de colonisação, onde elle occupa actualmente, uma posição de destaque. Se existe neste mundo um rapaz que erra pelo proprio talento seu, este, sem duvida alguma, será Isac, o genio errante que vaguéa mansamente á mercê das impetuosas ondas humanas.

*

Na alma multicor do nómado jovem ha tambem suas horas de sensações agradaveis. E nessas horas Isac volta sempre á sua infancia e recorda quasi sempre as palavras do professor das sciencias moraes — aquellas palavras pronunciadas da bocca de um velho que usava cabello e dentes postiços: "Meu filho, não seja vadio; a preguiça é dos sete peccados mortaes." E elle, como sempre, cae em pranto e jura que nunca mais ha de errar o caminho de sua existencia.

*

Tudo o que lhe desse a vontade, elle o fazia. A unica coisa que Isac hesitou em realisar foi o sonho de se vestir *vermelhamente*. Numa noite em que elle desgostára do *champagne* e das *fémmes* loiras de *cabarets*, elle resolvera retirar-se de Paris para experimentar o sabôr de Soviet. E começava ouvir varias pessôas sobre se elle devia ir para a Russia vermelha. Um, aconselhava-lhe que não fosse, porque a morte era fatal. Outro, já desmentia a opinião do primeiro. E assim por diante. A alma irresoluta de Isac soffria de momento a momento a oscillação alheia... Isto justamente quando o pae, naquelle tempo quasi indifferente nos destinos do seu filho, lhe telegraphára ordenando o immediato regresso para o Brasil.

*

Estes campos verdejantes e este lindo céo de anil recebiam com a bondade e carinho o filho que os ausentára durante alguns mezes nas longes plagas. As altaneiras montanhas que se lhe approximavam á medida que o *Cap* sulcava as aguas da Guanabara era uma nota saudosa que emocionava o coração do jovem estudante. Isac, encostado na janella do *cabine*, recordava a scena impressionante da sua partida para a Europa. "Espero o teu regresso, aguardo com ansiedade a chegada desse medico formado em Paris..." — reviviam nesse momento as palavras fortes daquelle beiço estremecedor e pensava: "Que fiz eu em Paris?" E envergonhava-se...

*

Um dia, com todas essas recordações visitou Isac o castello secular dos ascendentes, onde dormem eternamente seu pae e sua ex-noiva. Ajoelhou-se em frente ás duas campas em attitude de quem cumprimenta um rei, pronunciando, lacrimoso:

— Errei, e dou-vos toda a razão...